

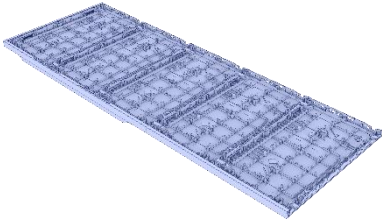
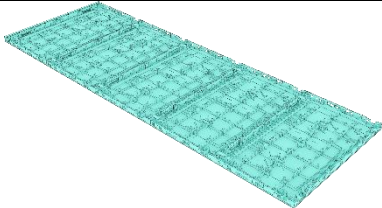
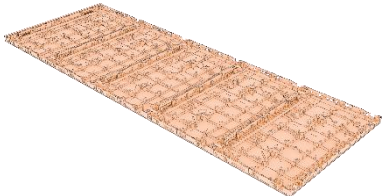
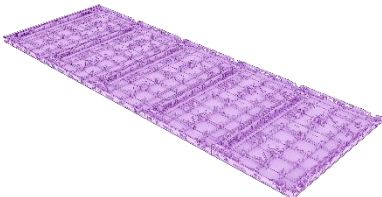
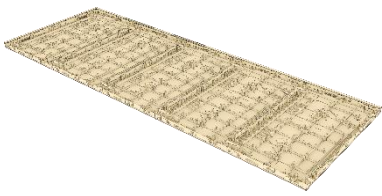


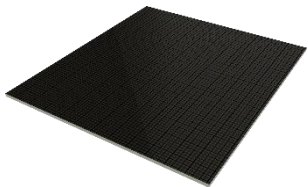
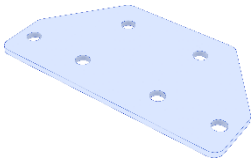
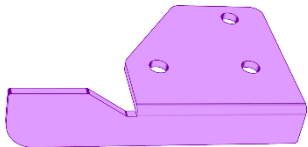
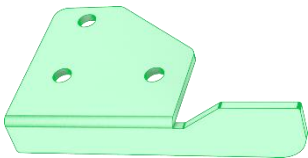
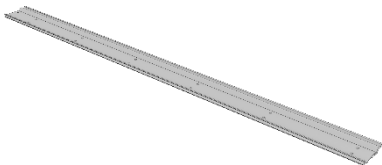
FHDC135 LED ディスプレイ

設置ガイド

Rev.15

I. LED ディスプレイ部品リスト

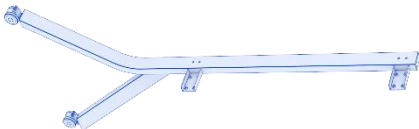
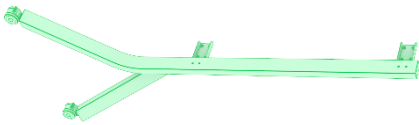
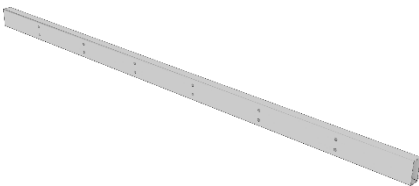
項目	画像	部品名	数量	注
1		ユニット シャーシ 1	1 PCS	ユニット シャーシ 1 を構成する 5 つのキャビネットの内側には、1 ~ 5 の番号が付けられています。
2		ユニット シャーシ 2	1 PCS	ユニット シャーシ 2 を構成する 5 つのキャビネットの内側には、6 ~ 10 の番号が付けられています。
3		ユニット シャーシ 3	1 PCS	ユニット シャーシ 3 を構成する 5 つのキャビネットの内側には、11 ~ 15 の番号が付けられています。
4		ユニット シャーシ 4	1 PCS	ユニット シャーシ 4 を構成する 5 つのキャビネットの内側には、16 ~ 20 の番号が付けられています。
5		ユニット シャーシ 5	1 PCS	ユニット シャーシ 5 を構成する 5 つのキャビネットの内側には、21 ~ 25 の番号が付けられています。
6		下部フレーム 1	1 セット	この部品は、FHDC135 の下のフレーム モジュールの左側に取り付けられています。ご使用前に必ず「下部フレーム 2」と一緒に組み立ててください。
7		下フレーム 2	1 セット	この部品は、FHDC135 の下のフレーム モジュールの右側に取り付けられています。ご使用前に必ず「下部フレーム 1」と一緒に組み立ててください。

8		LED パネル	200 PCS	- LED パネルは、FHDC135 画面を組み立てるための重要なコンポーネントです。 - 取り付け面にはボカヨケ設計を採用し、誤取付を防止します。
9		壁マウント ブラケット コネクタ ピース	2 PCS	この部品は、壁マウント ブラケット 1 と 2 のコンポーネントを接続および固定し、単一のユニットに統合するために使用されます。
10		ストッパー プレート-L	1 PCS	壁マウント スライド レールの左端に取り付けられたストッパー コンポーネントで、取り付けたディスプレイが滑り落ちるのを防ぎます。
11		ストッパー プレート-R	1 PCS	壁マウント スライド レールの右端に取り付けられたストッパー部品で、取り付けたディスプレイが滑り落ちるのを防ぎます。
12		壁マウント ブラケット 1	2 PCS	LED ディスプレイ ユニートを壁またはローリング スタンドに取り付けるための左側構造を提供します。
13		壁マウント ブラケット 2	2 PCS	LED ディスプレイ ユニートを壁またはローリング スタンドに取り付けるための右側構造を提供します。
14		左角 FFC ケーブル	1 PCS	- 長さは 416 mm です。 - このケーブルは、下部フレームのシステム ボードをユニット シャーシ 3 の配電盤に接続するために使用されます。
15		右角 FFC ケーブル	1 PCS	- 長さは 273 mm です。 - このケーブルは、下部フレームのシステム ボードをユニット シャーシ 4 の配電盤に接続するために使用されます。
16		FFC ケーブル	3 PCS	- 長さは 529 mm です。 - この FFC ケーブルは、ユニット シャーシ 1 と 2、ユニット シャーシ 2 と 3、ユニット シャーシ 4 と 5 を接続するために使用される信号ケーブルです。

17		電源コード	1 PCS	- これは、FHDC135 に AC 電源を供給するために使用される電源コードです。 - FHDC135 では、お客様が選択できる次の 4 種類の電源コードを提供しています: 米国規格、英国規格、EU 規格、オーストラリア規格。
18		ロック ブロック	10 PCS	- これは、下部フレームをシャーシに組み立てる際に使用する締結部品です。 - この部品は下部フレームの固定ピンと組み合わせて使用します。
19		M8 拡張ボルト	20 PCS	- これは、FHDC135 壁マウント ブラケットをコンクリートまたはレンガの壁に固定するために使用される拡張ボルトです。 - このボルトは 13 mm 六角ソケットレンチで操作します。
20		M8x35 mm ネジ	28 PCS	- これは、FHDC135 壁マウント ブラケットをフロア スタンドに取り付けるために使用するネジです。 - このボルトは 13 mm 六角ソケットレンチで操作します。
21		M6x10 mm ネジ	12 PCS	このネジは、壁マウント ブラケットのコンポーネントを 1 つのユニットに固定するために使用されます。
22		大型なべ頭 M3x8 mm	10 PCS	このネジは下部フレームの固定ピンに固定され、そこに設置されたロックブロックが緩まないようにします。
23		M3x6 mm ネジ (ワッシャー付き)	3 PCS	このネジは、下部フレーム 1 と下部フレーム 2 を 1 つの組み立てユニットとして固定するために使用されます。
24		M3x8 mm ネジ (ワッシャー付き)	2 PCS	このネジは、オプション キットの Wi-Fi アンテナをシステム コントロール ボックス内に取り付けるためのものです。
25		M3x25 mm ネジ (ワッシャー付き)	5 PCS	このネジはフック プレートを壁掛けスライ ドレールに固定し、ディスプレイを安定させて揺れを防止するために使用します。

26		RJ45 ~ RS232 ケーブル	1 PCS	RS232 制御用です。
----	---	-------------------	-------	--

II. フロア スタンド部品リスト (オプション)

項目	画像	部品名	数量	注
1		左側垂直カラム	1 PCS	メイン ビームを取り付けるための垂直構造を提供し、スタンド用のローラーを提供します。
2		右側垂直カラム	1 PCS	メイン ビームを取り付けるための垂直構造を提供し、スタンド用のローラーを提供します。
3		水平ブラケット	2 PCS	2 つの垂直柱アセンブリ間に水平構造を提供し、マウント バーの取り付け面を提供します。
4		M8x20 mm ネジ	16 PCS	- このネジは、フロア スタンドの垂直カラムと水平ブラケットのアセンブリを固定するために使用されます。 - このボルトは 13 mm 六角ソケット レンチで操作します。

使用する工具と付属品のリスト

項目	画像	部品名	数量	注
1		プラス ドライバ ー	1 PCS	プラス ネジの取り外しと設置に使用する工具。
2		5 番六角レンチ	1 PCS	この工具は、ユニット シャーシ内部の側面フック機構を操作して組み立てや分解を行うために使用します。
3		13 mm 六角ソケット レンチ	1 PCS	この工具は、ユニット全体に使用されているリベット ボルトや M8 ネジのナットを締めたり取り外したりするために使用します。
4		マグネット高さ調 整工具	2 PCS	LED パネルを磁気サポートに固定するディスプレイ シャーシ内の磁気ボルトの高さを調整するための工具。
5		フロント タイル プラー	1 PCS	これは、COB LED パネルの組み立てと分解に特化したフロント タイル プラーです。
6		フロント カバー メンテナンス工具	1 PCS	これは、下部フレームのカバー プレートを取り外す際に使用するフロント カバー メンテナンス工具です。
7		静電気防止手袋	5 PCS	これらの手袋を着用すると、技術者は FHDC135 の組み立てやメンテナンス中に静電気を除去し、LED ディスプレイを保護することができます。

壁マウント設置

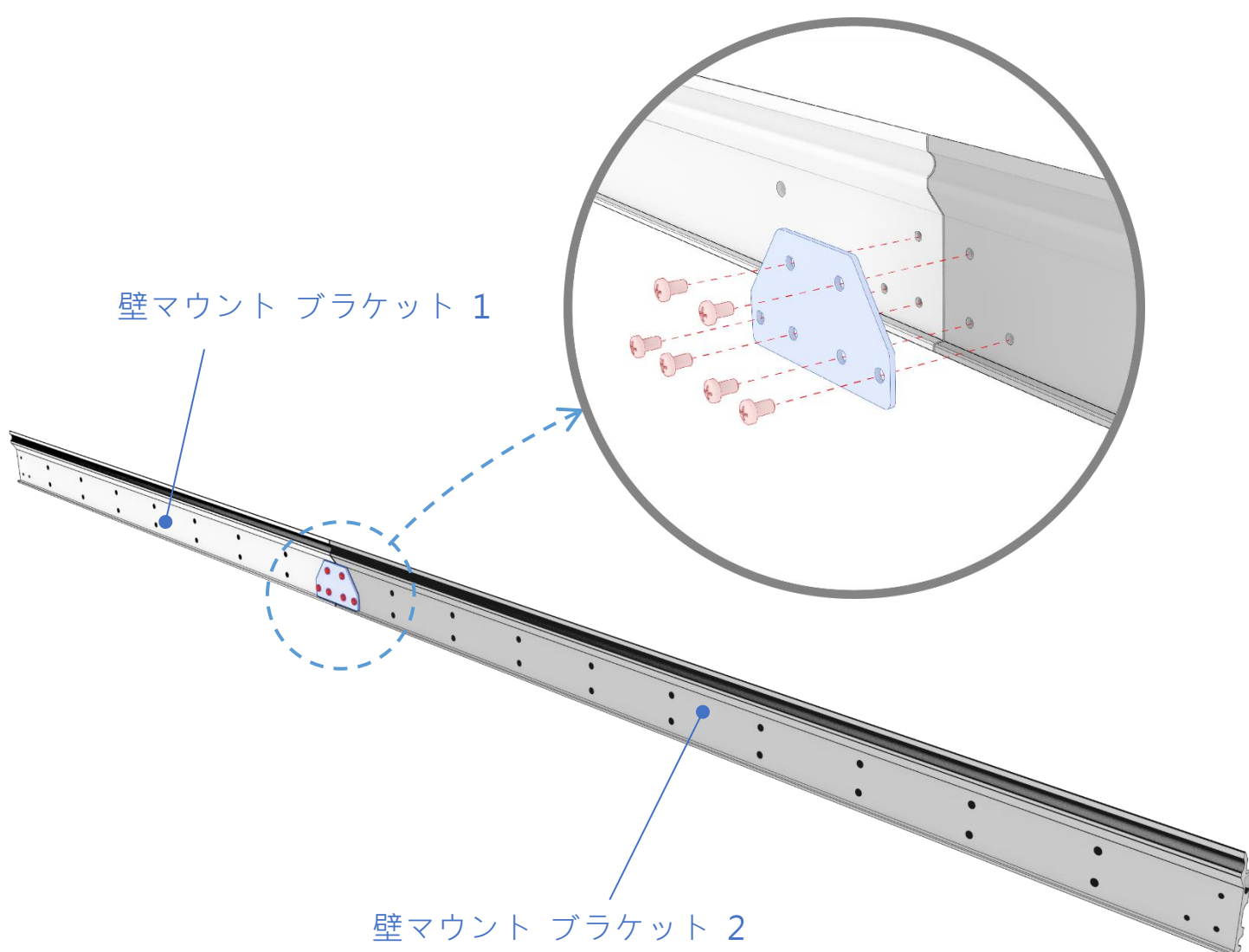
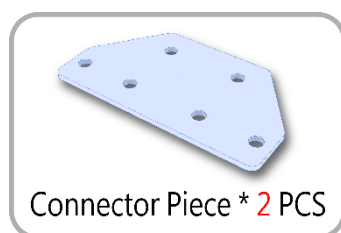


壁マウント設置時のイメージ図

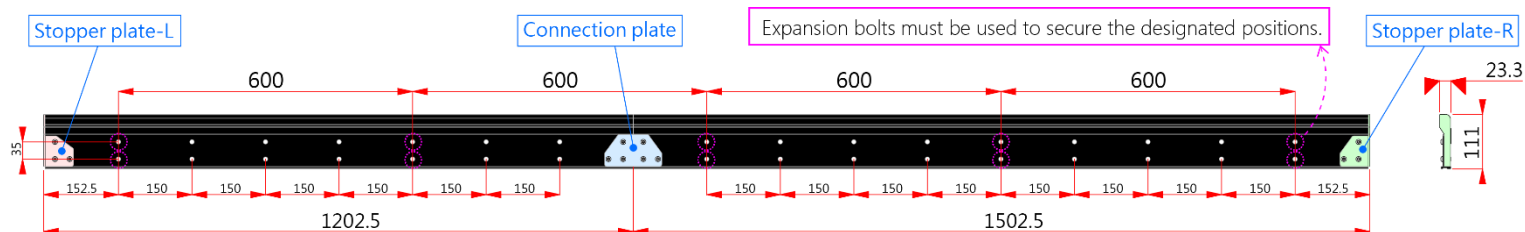
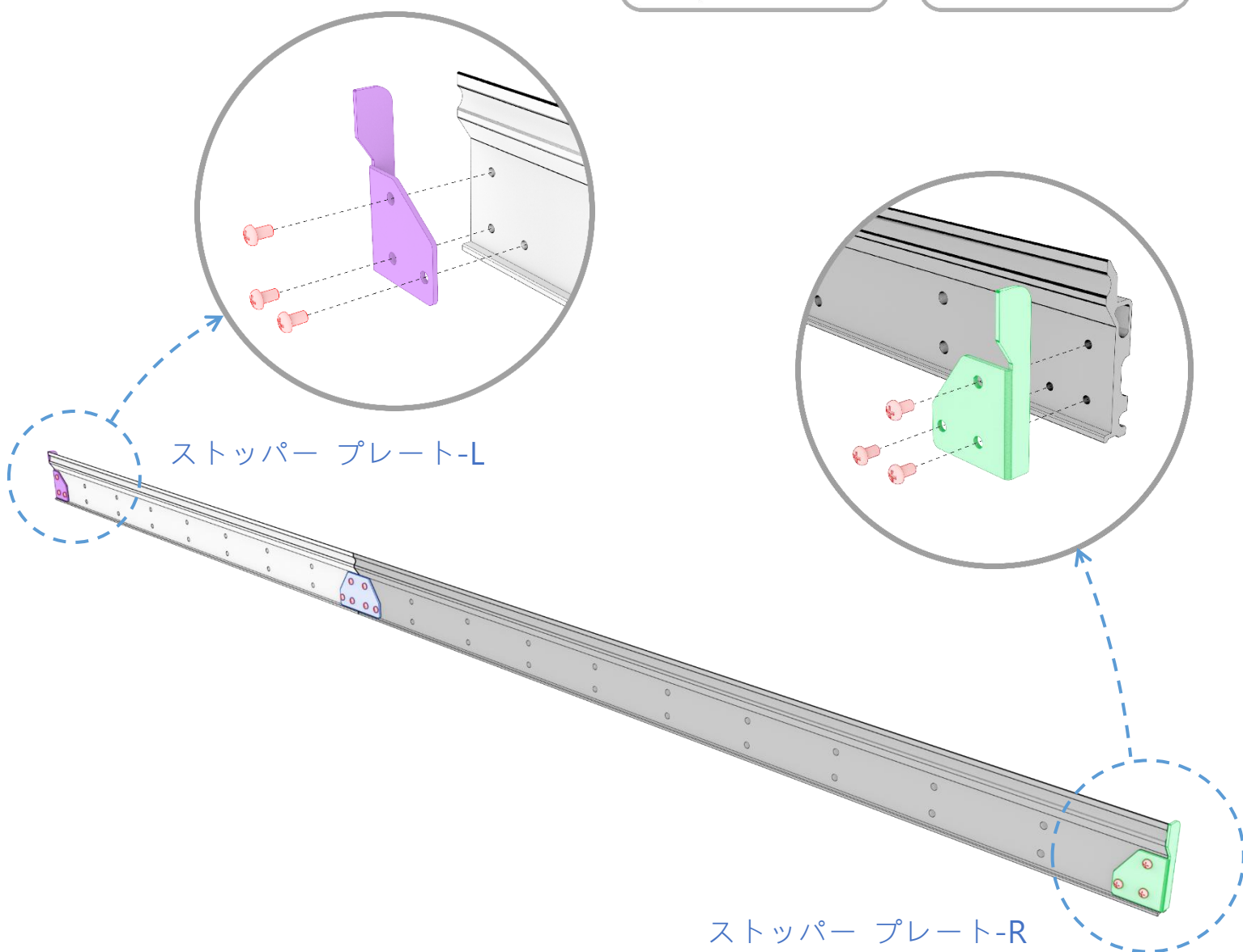
設置手順:

- 1) 現場環境に合わせて、大画面の地上からの高さに合わせて、上部壁マウントと下部壁マウントの穴あけ位置を決定します。水平方向の位置合わせを確実にするには、水準器が必要です。
- 2) 上部壁マウントおよび下部壁マウントは、それぞれ壁マウント ブラケット 1 と壁マウント ブラケット 2 で構成され、コネクタで接続されています。コネクタを固定するために、6 本の M6*10 なベネジを使用します。
- 3) ストッパー プレート-L とストッパー プレート-R を、M6×10 mm なベネジ 6 本を使用して上部壁マウントの左右端に設置します。これらのプレートは、LED ディスプレイが安全許容範囲を超えて壁マウント上で滑るのを防ぎます。

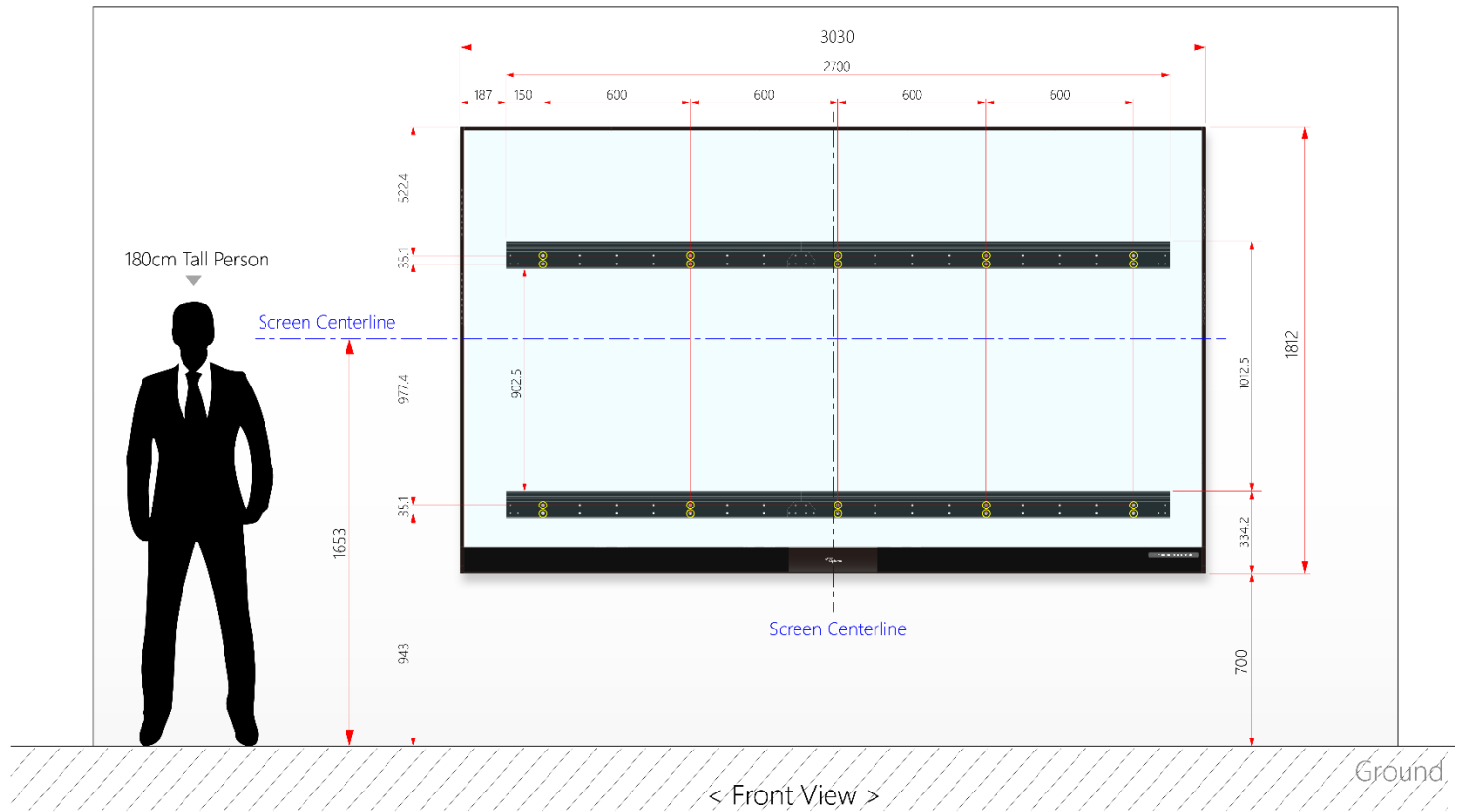
ステップ 1: 上部壁マウント本体と下部壁マウント本体の組立図



ステップ 2: 上部壁マウントのストッパー-L とストッパー-R 部品の組み立て図。



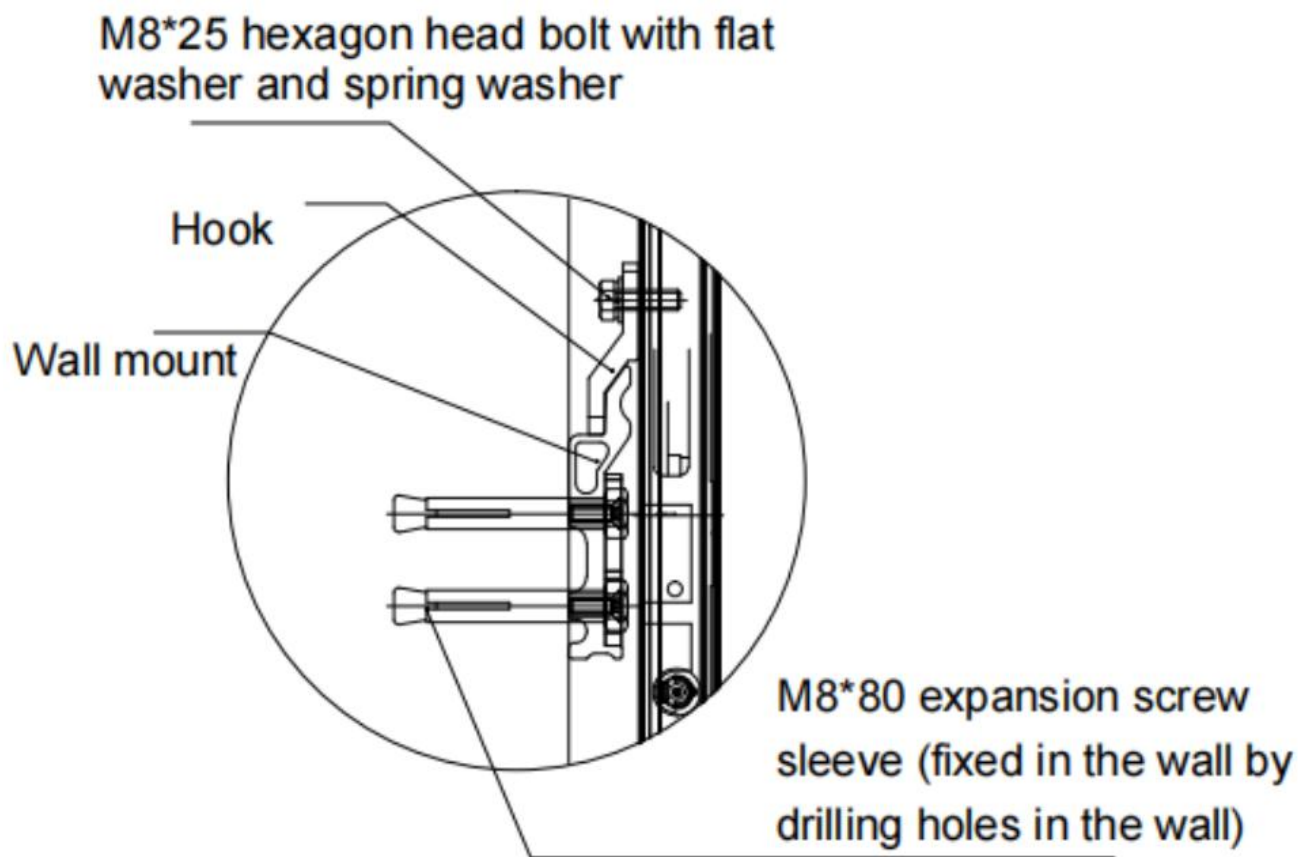
4) 壁マウント 1 と壁マウント 2 の穴あけ位置は図の通りです。



- 1) 壁に適切な穴の位置をマークし、工具を使用してマークした位置に直径 10 mm の穴を開けます。
- 2) 図の黄色の円で囲まれた位置は、FHDC135 壁マウント ブラケットを設置するための必須の取り付け穴を示しており、合計 20 個の固定ポイントがあります。
- 3) 下図に示すように、対応する穴位置に設置するには、M8 * 80 拡張ボルトを使用します。



1) 壁マウントを設置した側面断面図。



2) 壁マウントを設置した正面図は下図のようになります。上部吊り棒と下部吊り棒は地面と平行で、上下が揃っています。それらの間の距離は 1012.5 mm です。

3) 壁マウントが正しく設置されているかどうかを確認するには、次の点を確認します: 1) 水平かどうか。2) 上部の壁マウントと下部の壁マウント間の距離が正しいかどうか。以下の方法で確認・調整できます:

- I. 水準器を使用して、壁マウントが水平かどうかを測定します。水平でない場合は、拡張ボルトを緩めて調整し、手で軽く押して水平にしてから、ボルトを締めます。
- II. 巻尺を使用して、上部壁マウントと下部壁マウント間の距離が正しいかどうかを確認します。正しくない場合は、拡張ボルトを緩め、手で軽く押して距離を調整し、ボルトを締めて調整します。

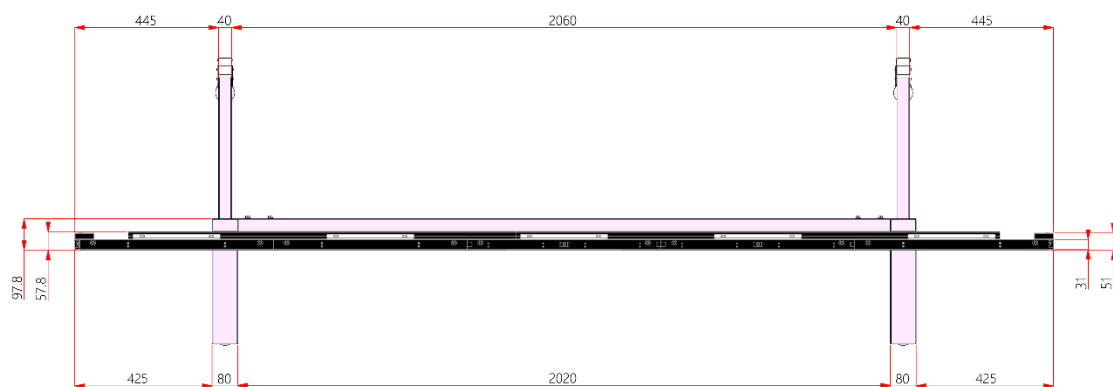
4) 床置き設置の設置手順に従ってキャビネットを設置します。

床置き設置

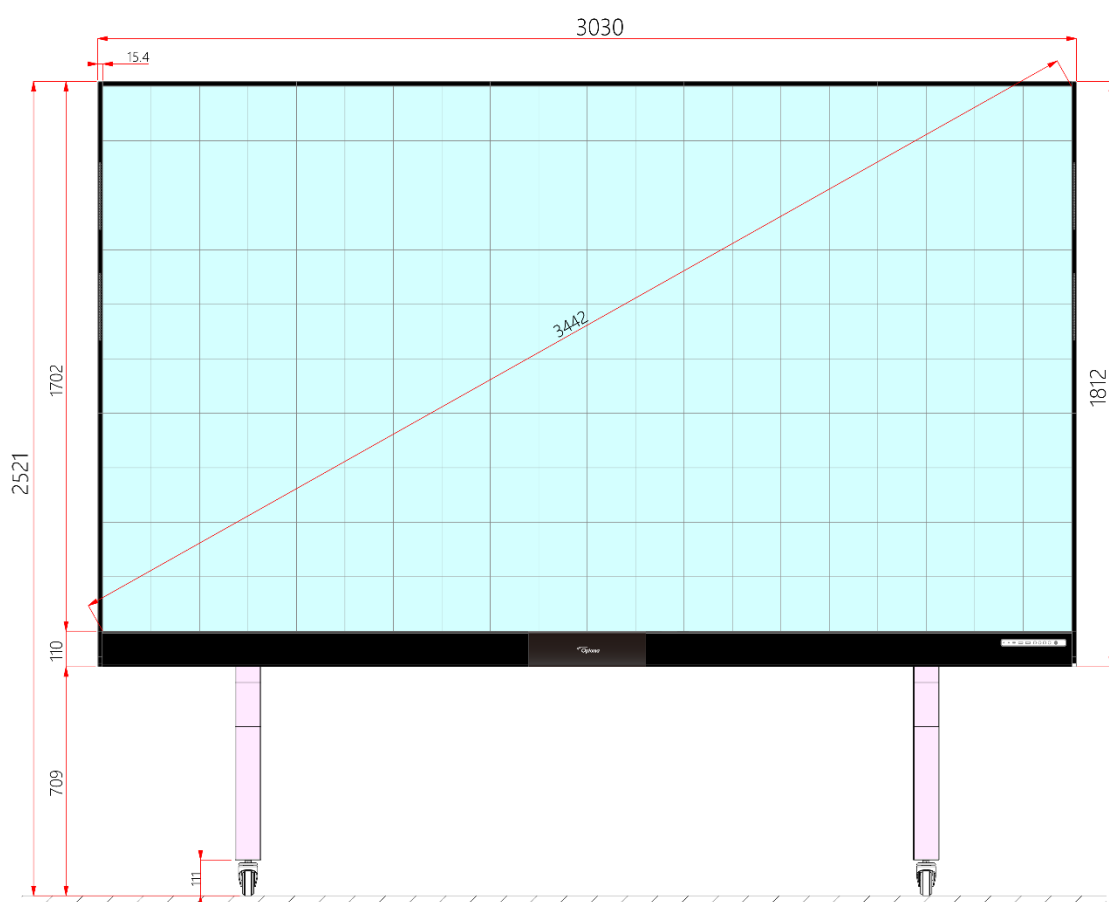


床置き設置のイメージ

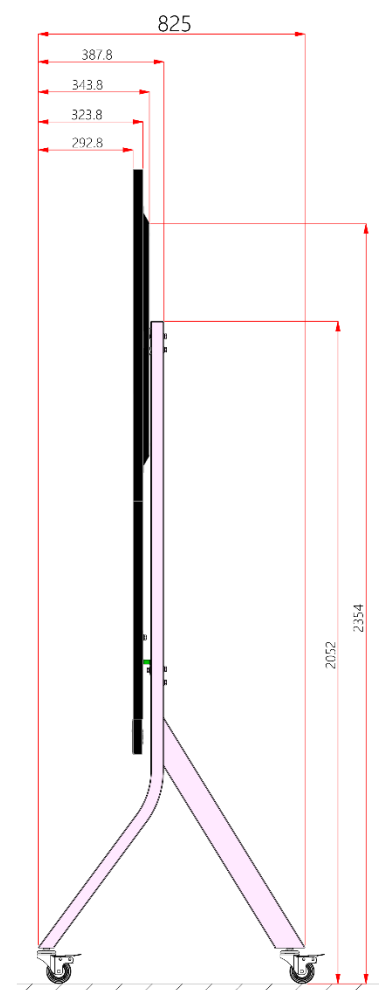
1. 床置き型 FHDC135 寸法図



<Top View>



<Front View>



<Right Side View>

2. 使用および運用上の注意

注意事項

- このスタンドは、OPTOMA FHDC135 LED ディスプレイ専用です。このスタンドを他のモデルと併用すると、不安定になり怪我をする可能性があります。

転倒の危険!

- スタンドをケーブルの上、凹凸のある表面、汚れた表面、柔らかい表面、または急な傾斜の表面の上を転がさないでください。
- ディスプレイの前面を押さないでください。移動する前に必ず車輪のロックを解除してください。

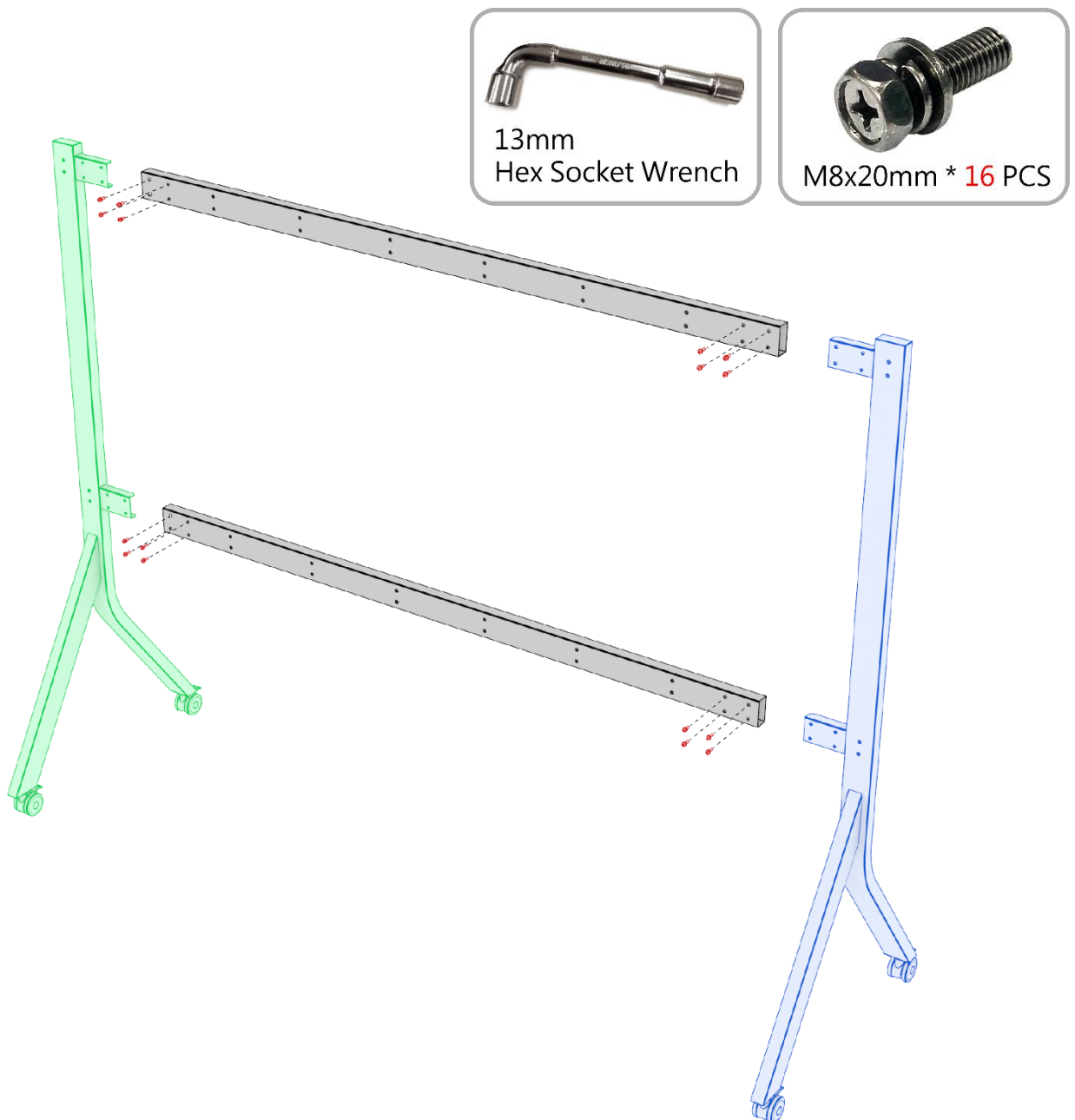
この注意に従わなかった場合、機器の損傷や人身傷害が発生する可能性があります。

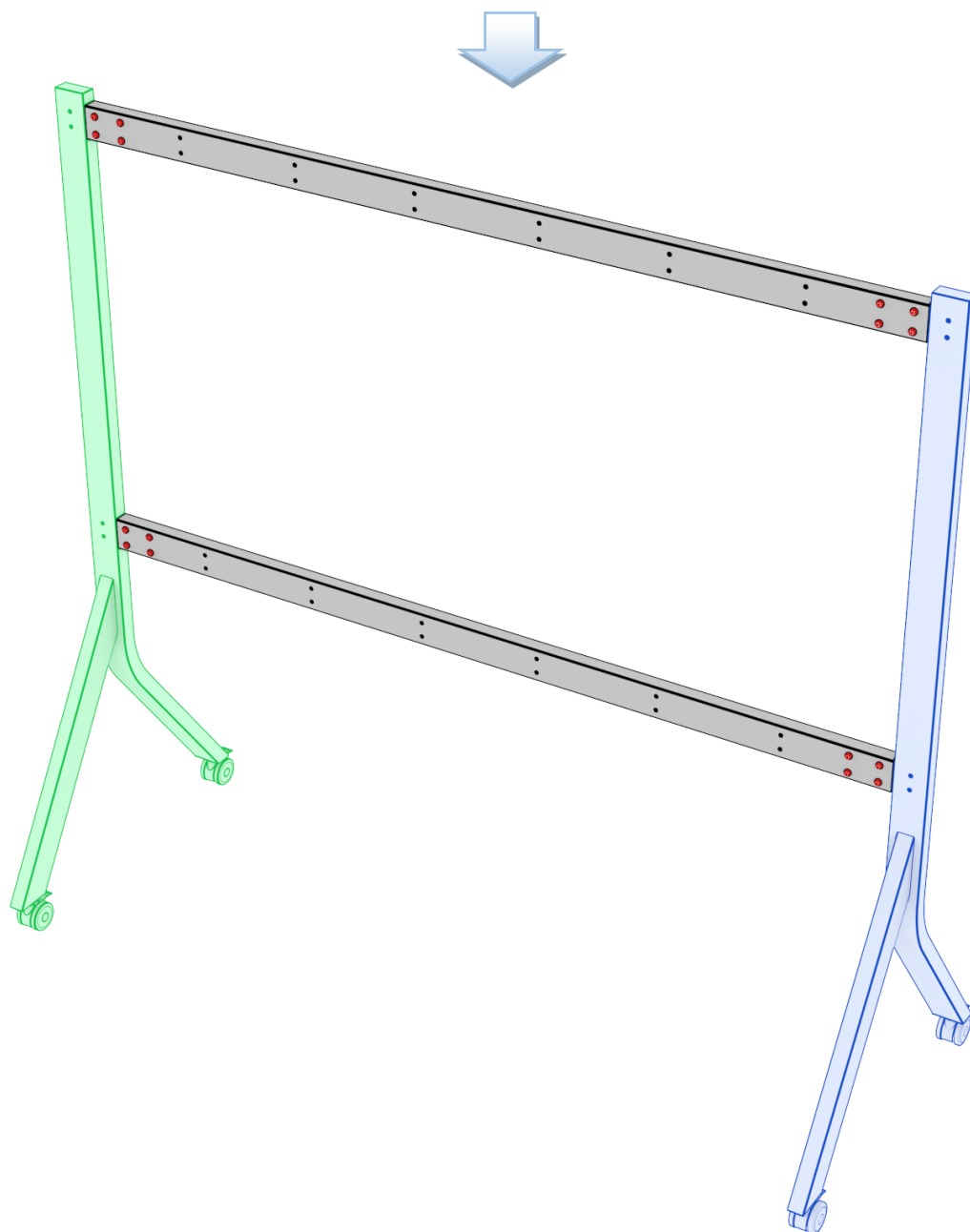


設置手順:

ステップ 1: フロア スタンドを組み立てる

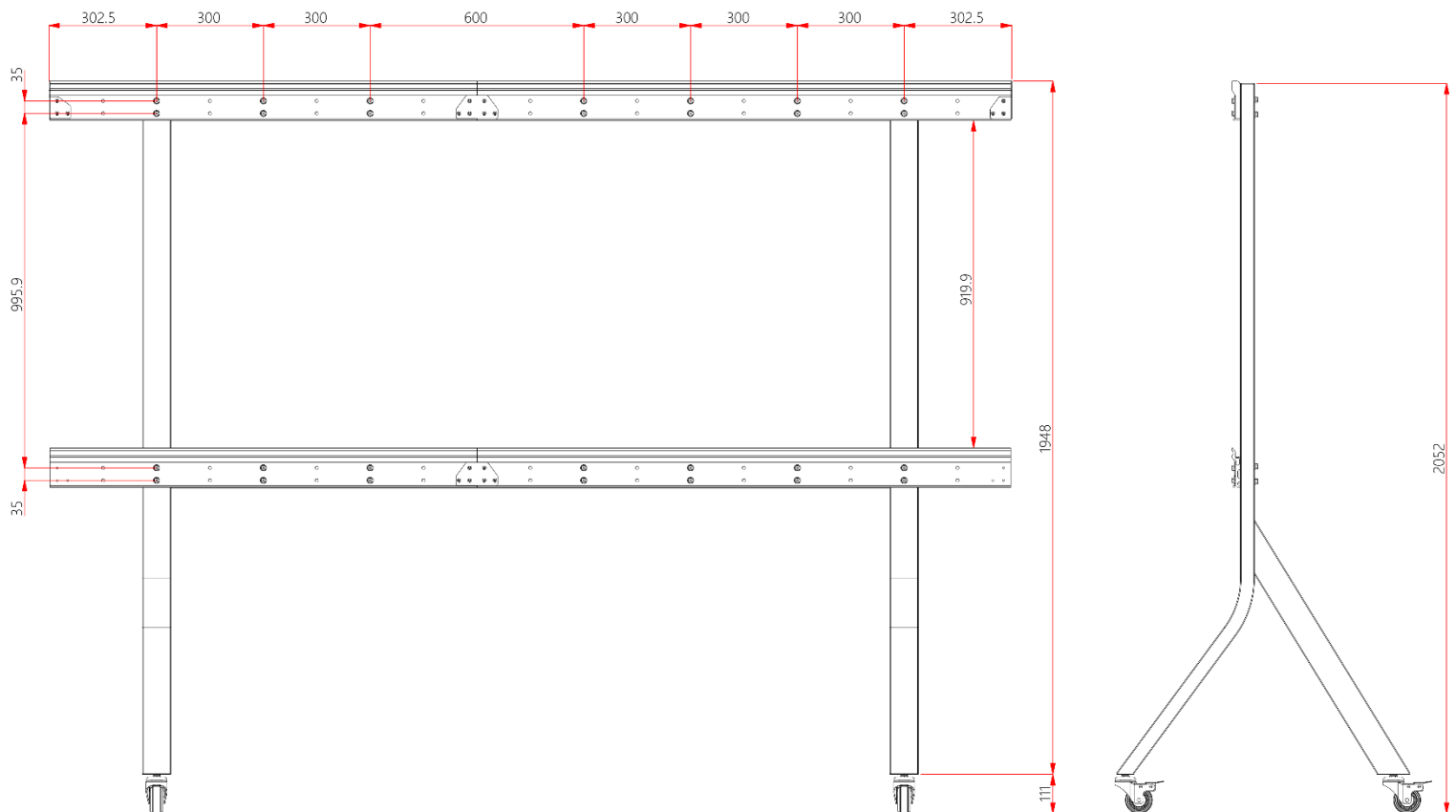
- 1) フロア スタンド アセンブリの詳細リストに基づいて、下図に示すように対応するコンポーネントを見つけます:
- 2) 下図に示すように、適切な工具を使用して取り付けネジを締め、フロア スタンド アセンブリの設置を完了します。





ステップ 2: FHDC135 壁マウントをフロアスタンドに設置する

- 1) 下図は、FHDC135 壁マウントを設置したフロア スタンドの立面図です。ピンク色の円でマークされた位置は、壁マウントを取り付けるためのネジ ロック ポイントを示しています。

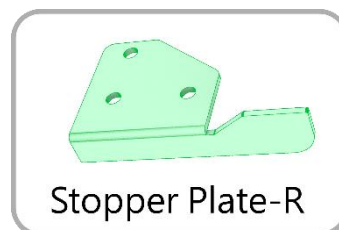
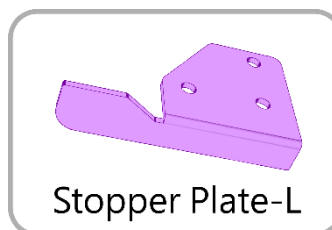
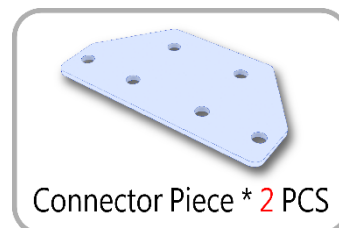


- 2) FHDC135 LED ディスプレイ壁マウントは、壁マウント ブラケット コネクタ ピースを使用して壁マウント ブラケット 1 と壁マウント ブラケット 2 を接続することによって組み立てられます。壁マウントは合計 2 セットあります。

壁マウントをフロア スタンドに取り付けるには、以下のコンポーネントと工具を事前に準備する必要があります:

コンポーネント:

- 壁マウント ブラケット 1 * 2 個
- 壁マウント ブラケット 2 * 2 個
- 壁マウント ブラケット コネクタ ピース * 2 個
- ストッパー プレート-L * 1 個
- ストッパー プレート-R * 1 個



ファスナー:

- M8*35 mm ネジ * 28 個
- M6*10 mm ネジ * 18 個



工具:

- プラス ドライバー
- 13 mm 六角ソケット レンチ



以下は、フロア スタンドの下側にある壁マウント ブラケットを例として、FHDC135 壁マウントをフロア スタンドに組み立てるための OPTOMA 推奨の手順です。

ステップ 1

13 mm 六角ソケット レンチを使用して、図に示すネジ穴の位置に 6 本の M8×35 mm ネジを締め、壁マウント ブラケット 1 をフロア スタンドに固定します。

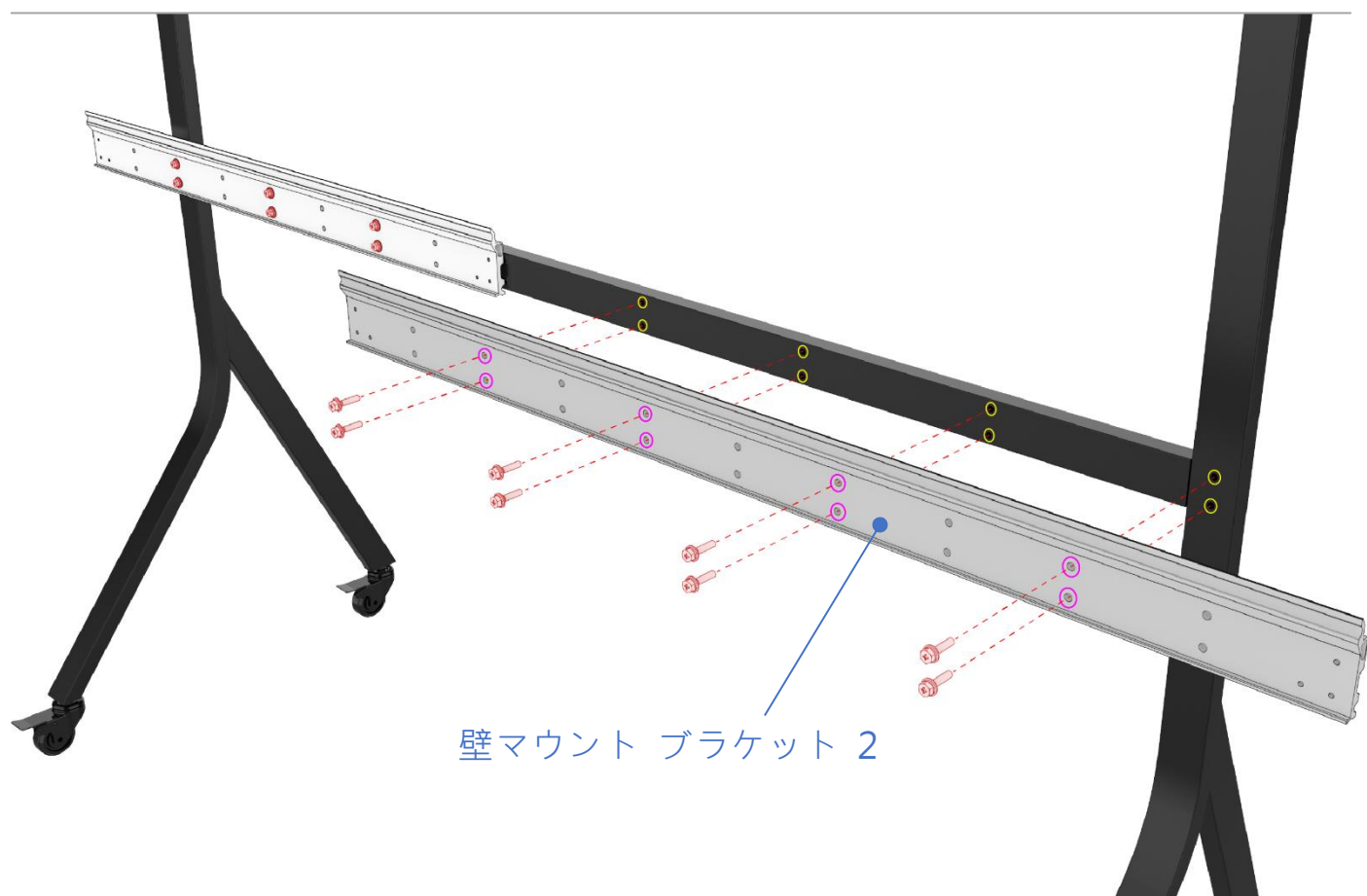
図のピンクの丸で囲まれたマークは、ネジが壁マウント ブラケット 1 を通過するネジ穴を示しており、黄色の丸で囲まれたマークは、ネジをフロア スタンドに固定するためのネジ穴を示しています。



ステップ 2

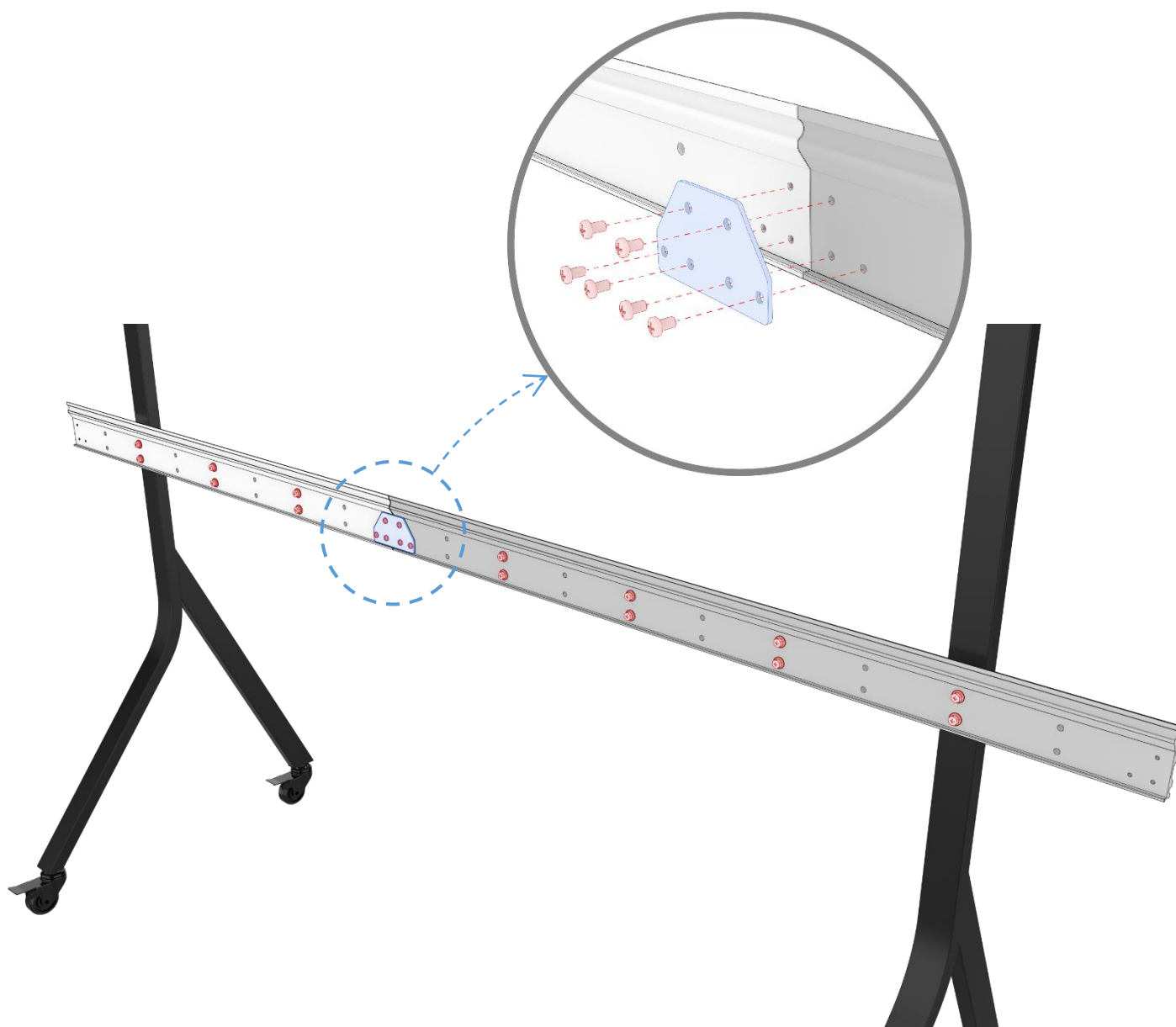
次に 13 mm 六角ソケット レンチを使用して、図に示すネジ穴の位置に 8 本の M8×35 mm ネジを締め、壁マウント ブラケット 2 をフロア スタンドに固定します。

同様に図のピンクの丸で囲まれたマークは、ネジが壁マウント ブラケット 2 を通過するネジ穴を示しており、黄色の丸で囲まれたマークは、ネジをフロア スタンドに固定するためのネジ穴を示しています。



ステップ 3

プラス ドライバーを使用して、図に示すネジ穴の位置に 6 本の M6*10 mm ネジを締め、壁マウント ブラケット コネクタ ピースを壁マウント ブラケット 1 と壁マウント ブラケット 2 に固定し、1 つのユニットに接続します。

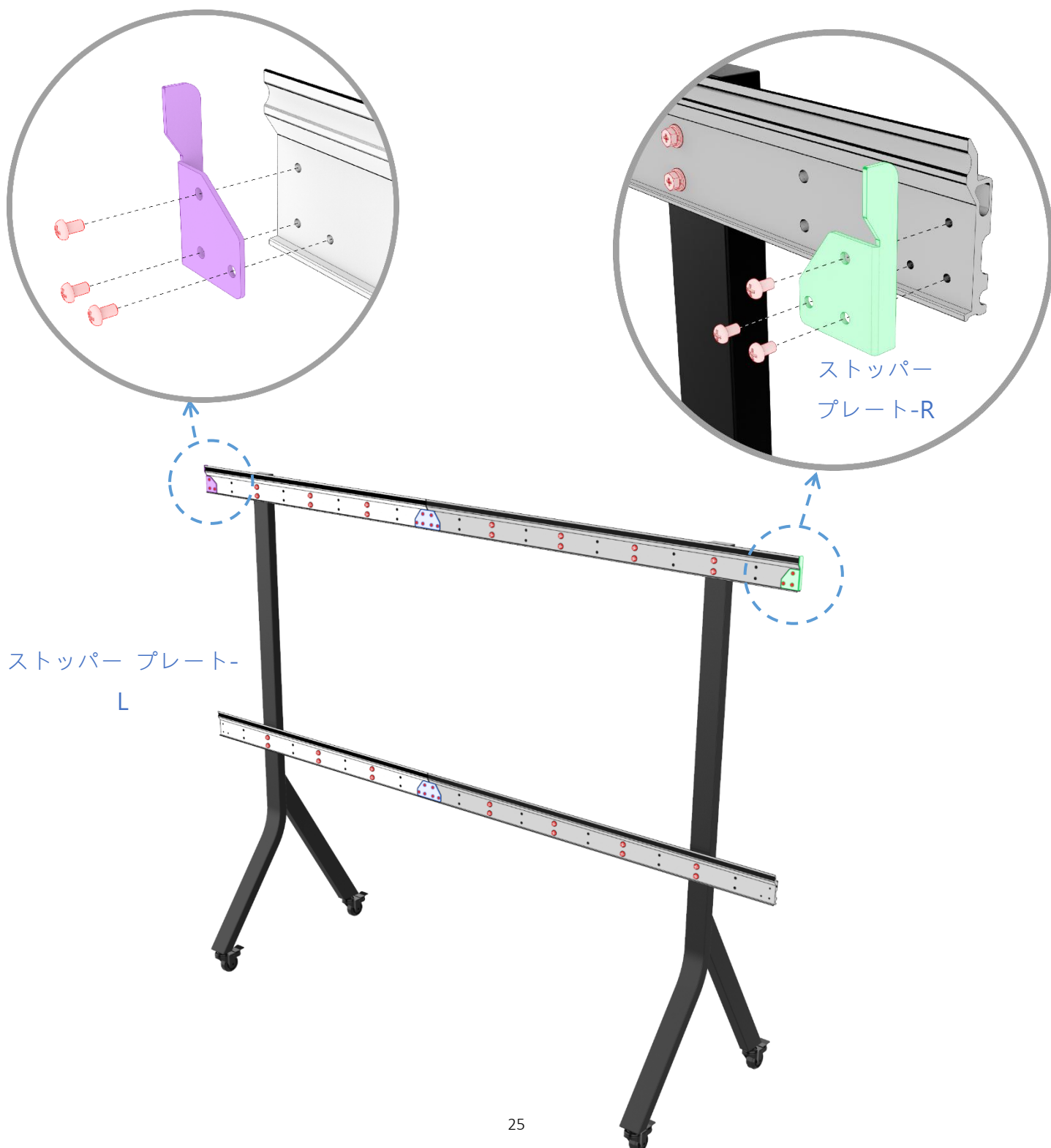


フロア スタンド上での上部壁マウントの組み立て方法は上記と同じです。下図は、
FHDC135 フロア スタンドを組み立てた後の完成外観を示しています。



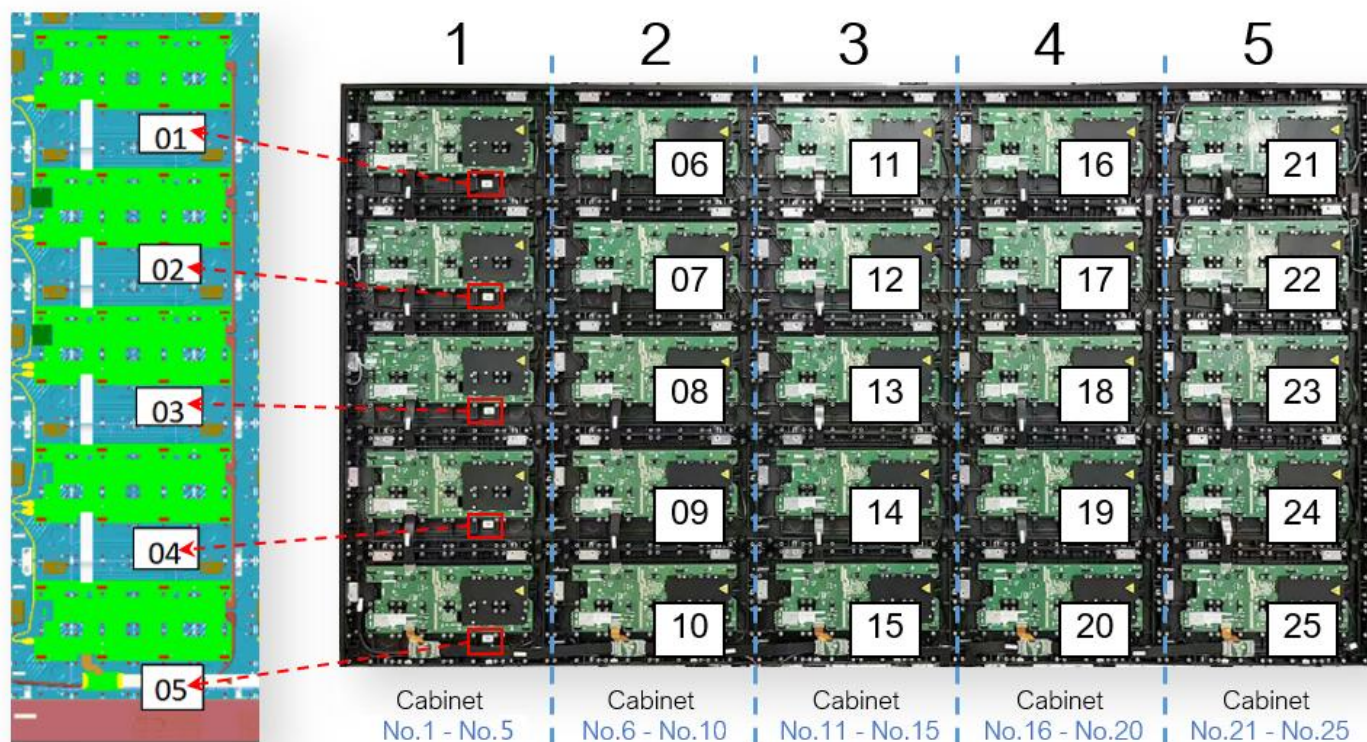
ステップ 4

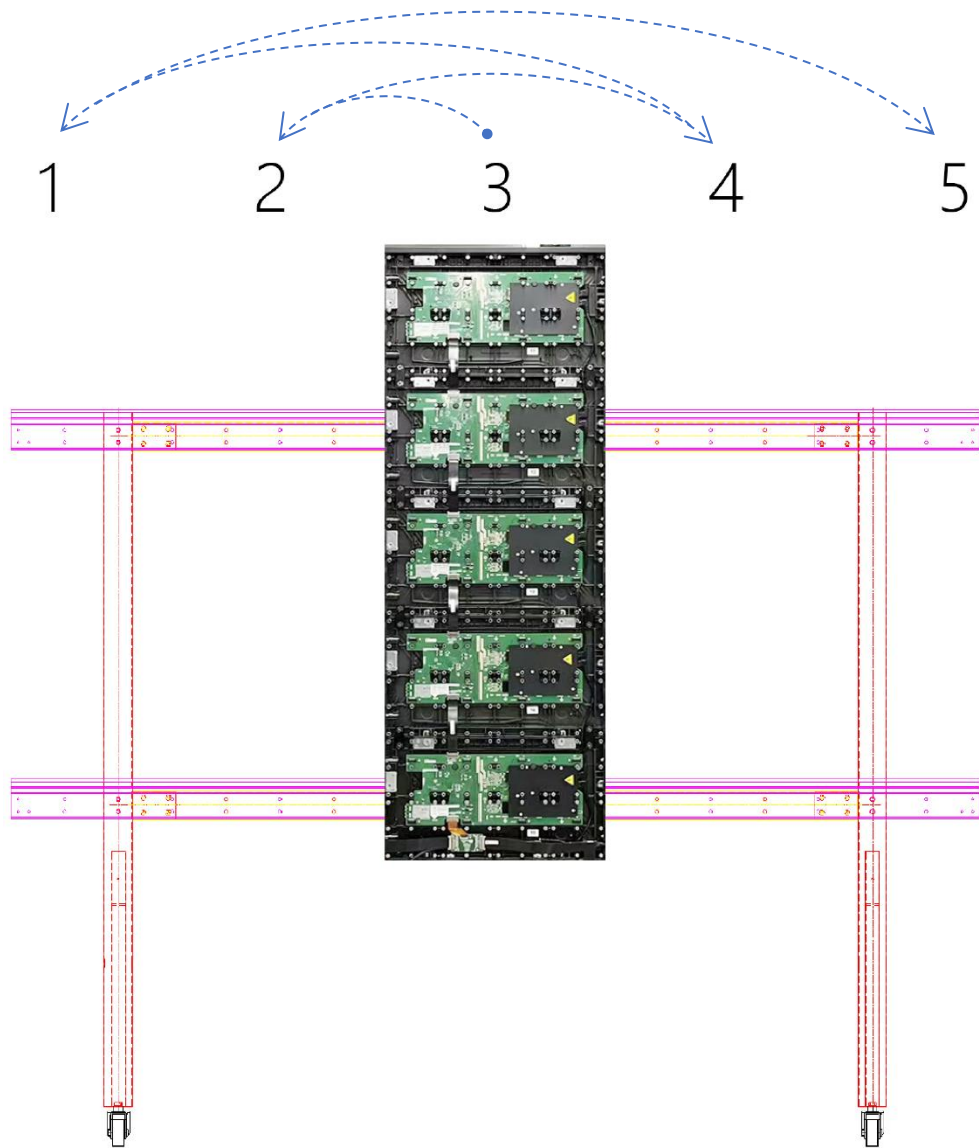
最後に、図のように、プラス ドライバーと 6 本の M6x10 mm なべ頭ネジを使用して、ストッパー プレート-L とストッパー プレート-R を上部壁マウントの両端に取り付けます。一つのユニットに組み立てると、FHDC135 フロア スタンドが完成します。



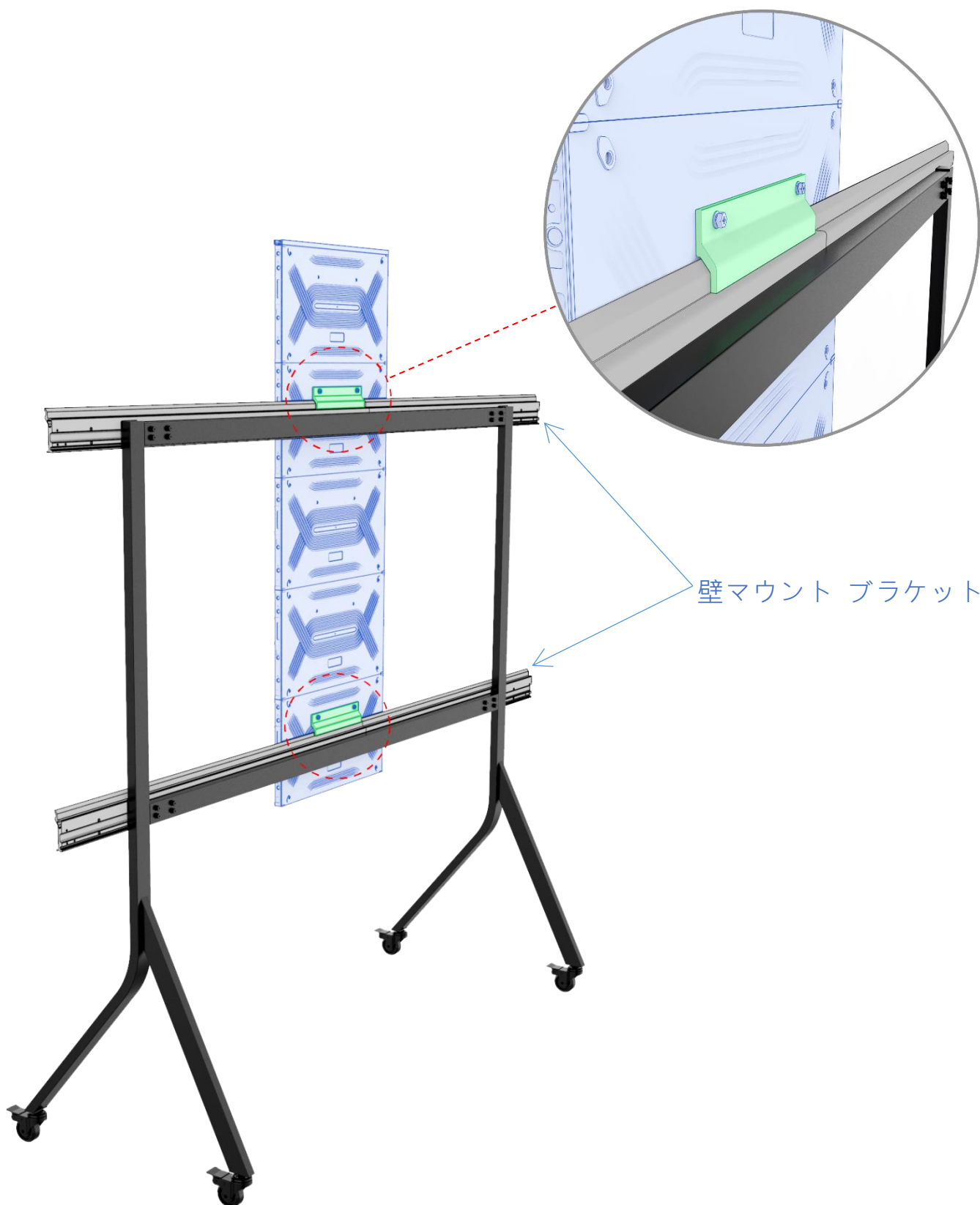
ステップ 3: LED ディスプレイ ユニット シャーシをフロア スタンドに取り付ける

- 1) カラムに組み立てられたユニットシャーシには、バック フックとエッジングがあらかじめ設置されています。
- 2) 一体型 LED ディスプレイはユニット シャーシに番号順に 1 カラムずつ配置されて出荷され、FHDC135 の場合は合計 5 カラムに配置されます。
- 3) FHDQ135 の 5 カラムのユニット シャーシ番号を識別する方法は、各キャビネットの内側に貼付されたラベル番号を識別することです。図に示すように:
 - キャビネット ラベル番号 1 ~ 5 はユニット シャーシ 1 に対応します。
 - キャビネット ラベル番号 6 ~ 10 はユニット シャーシ 2 に対応します。
 - キャビネット ラベル番号 11 ~ 15 はユニット シャーシ 3 に対応します。
 - キャビネット ラベル番号 16 ~ 20 はユニット シャーシ 4 に対応します。
 - キャビネット ラベル番号 21 ~ 25 はユニット シャーシ 5 に対応します。
- 4) OPTOMA は、5 カラムの FHDC135 LED パネル ユニットの組み立て順序を次のように推奨しています: 3、2、4、1、5。





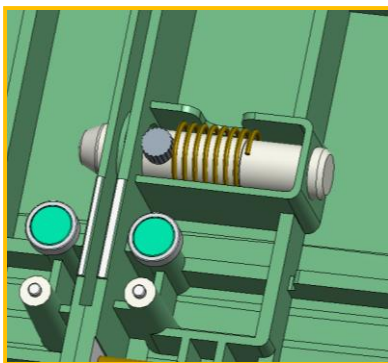
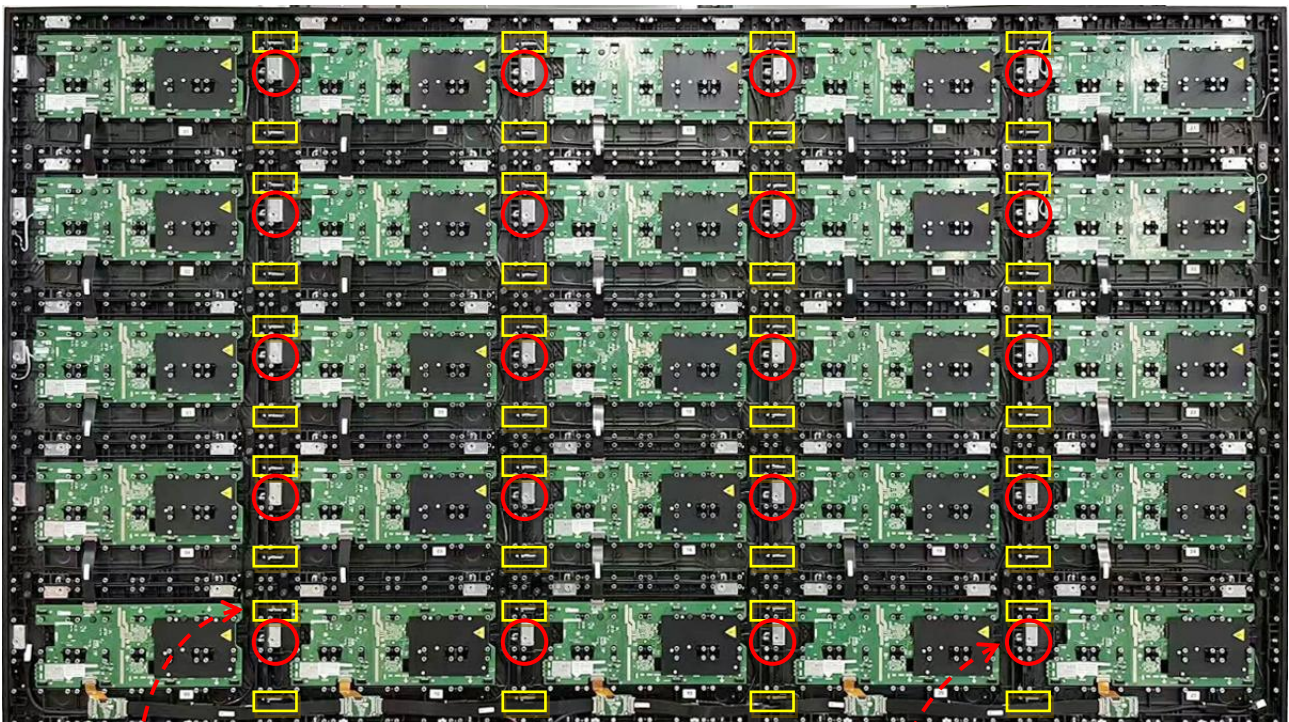
- FHDC135 5 ユニット シャーシの設置シーケンス図。



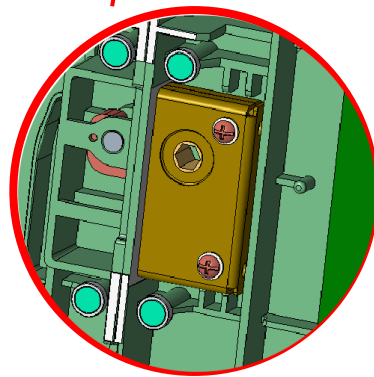
- 各ユニット シャーシの背面には 2 つのフック プレートが装備されており、2 つの壁マウント ブラケットと噛み合うように設計されているため、ユニット シャーシを安全に設置できます。

ステップ 4: LED ディスプレイ ユニット シャーシを組み立てる

- * ユニット シャーシを吊り下げる前に、フロア スタンドのキャスターがロックされ、壁マウントが水平になっていることを確認してください。
- 1) ユニット シャーシを中央から側面に掛け、壁マウントをキャビネットの壁マウントに掛け、さらにフロア スタンドに掛けます。
- 2) ユニット シャーシの隣接する 2 番目のコラムを設置し、隣接する側面がしっかりと揃った状態で、フックを壁マウントに掛けます。側面スプリングの位置決めピンを引き抜き、位置決めピンを対応する位置決め穴に完全に挿入し、対応する六角レンチで側面フックロックを回転させて、ユニット シャーシの 2 つのコラムを完全にロックします (下図を参照):

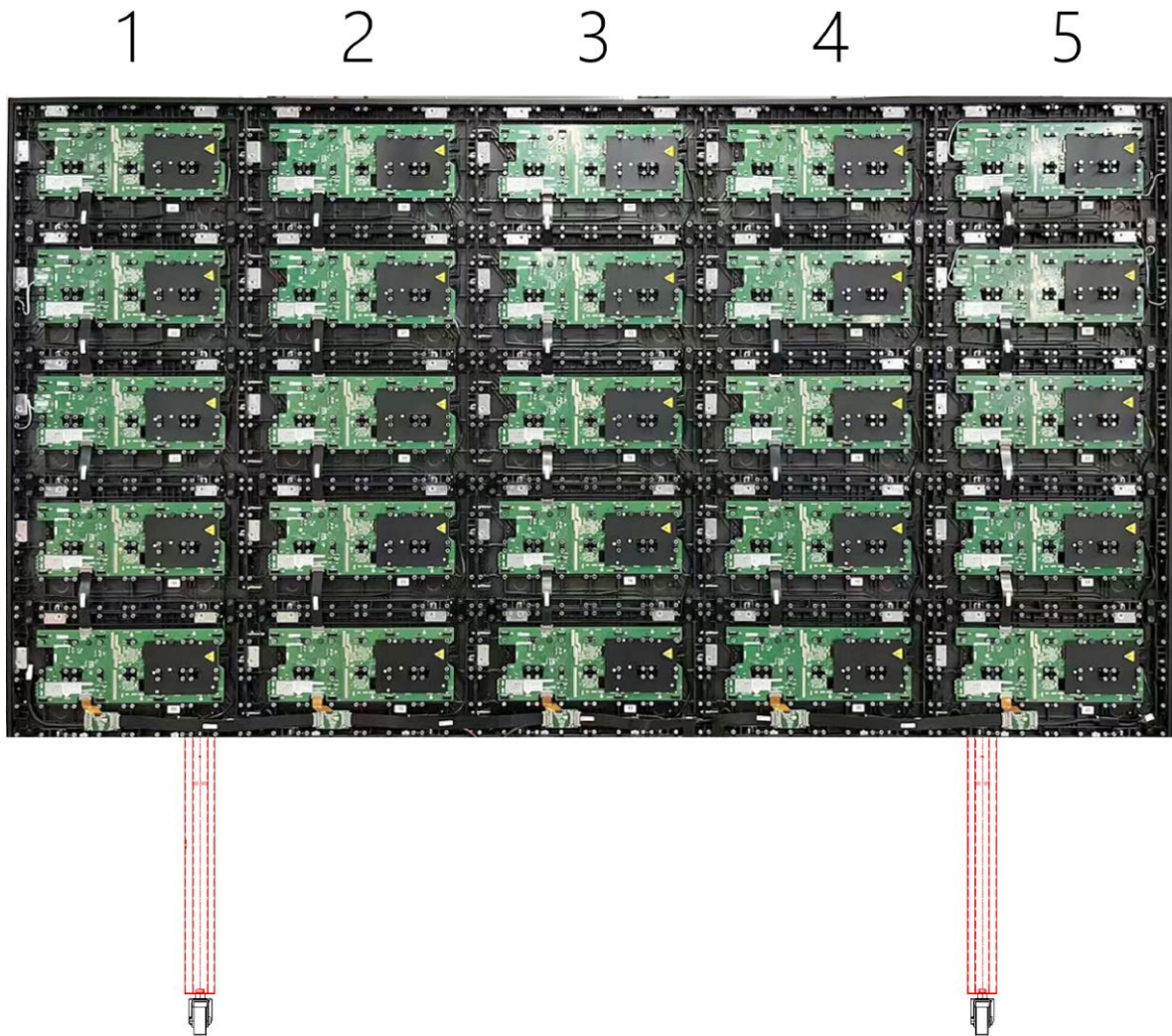


- 位置決めピン * 40 個



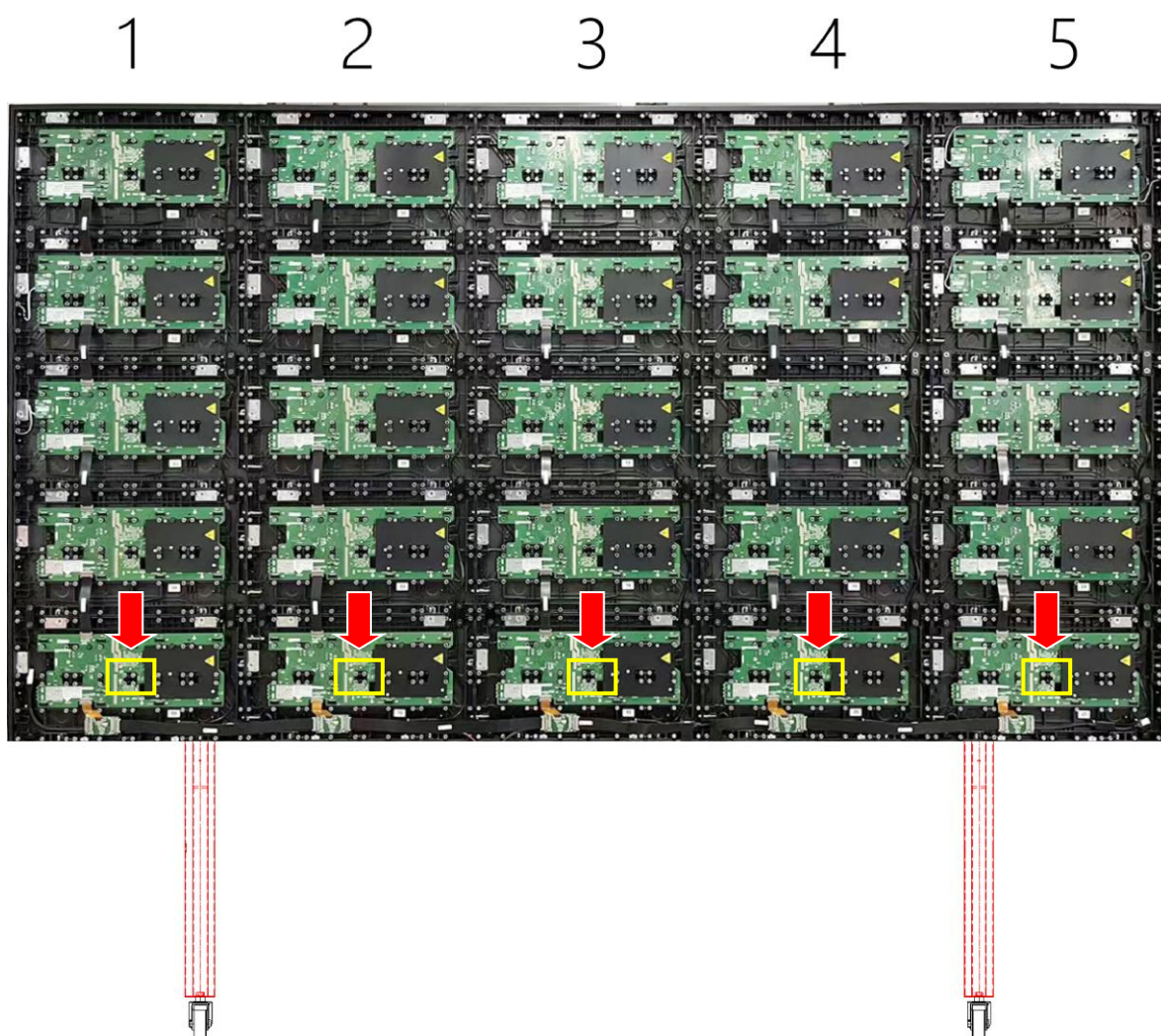
- 側面フック * 20 個

3) 下図に示すように、ユニット シャーシの他のカラムの設置を順番に完了します:

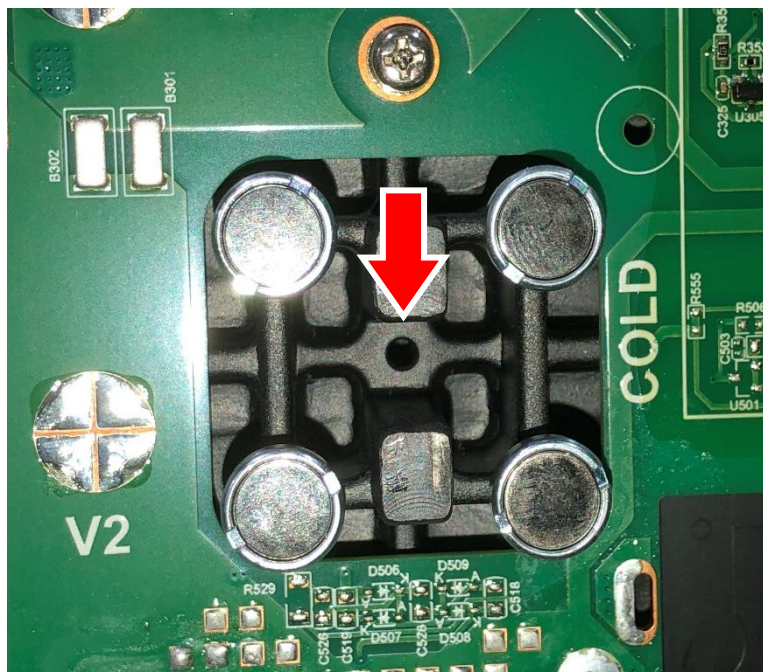


ステップ 5: 床置き型 LED ディスプレイ シャーシを安定させて揺れを防止する

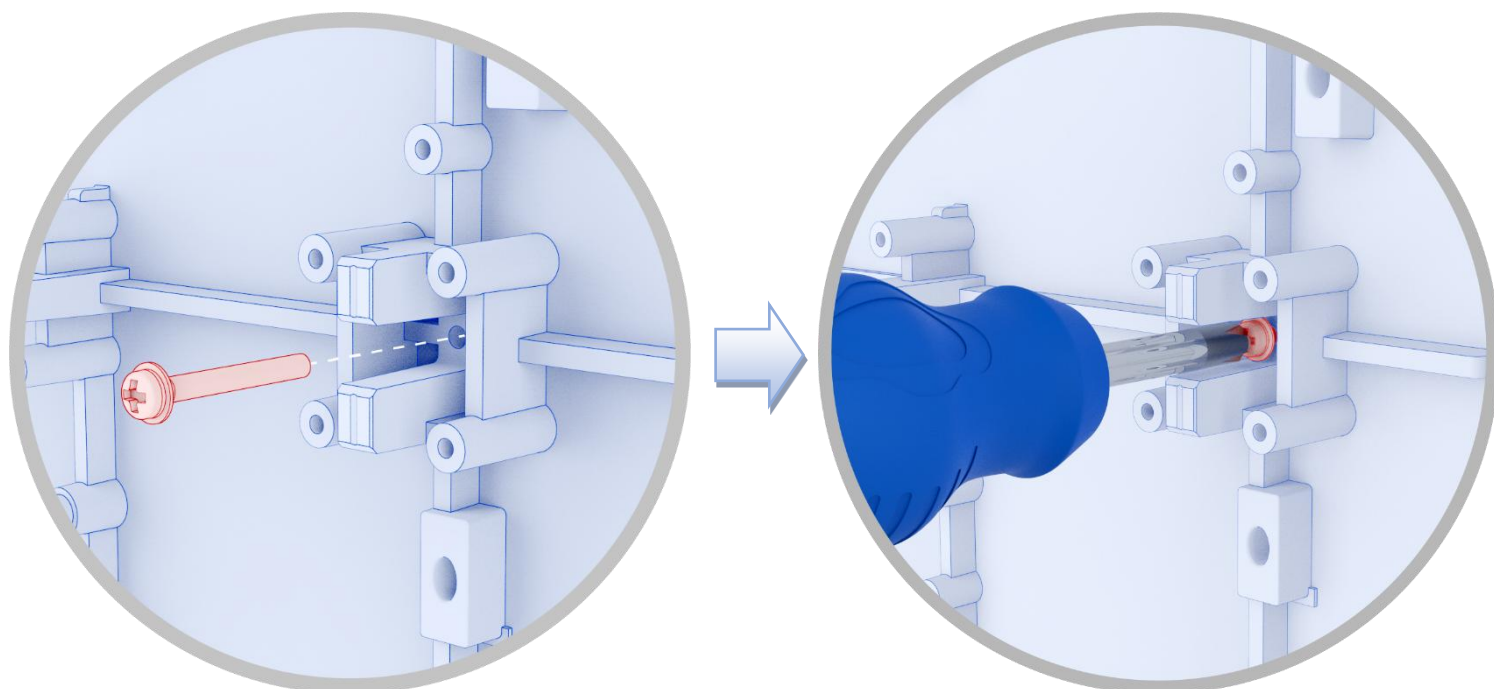
プラス ドライバーを使用して、図の矢印記号で示されたネジ穴に 5 本の M3x25 mm ネジを挿入してください。4kg.cm のトルクで締め付けます。これにより、ユニット シャーシの背面にあるフック プレートが壁マウント レールにしっかりと固定され、LED ディスプレイの揺れを防ぐことができます。



- 矢印記号で示された位置は、床置き型 FHDC135 LED ディスプレイ シャーシに 5 本の M3x25 mm ネジを設置する位置を示しています。



- これは、M3x25 mm ネジを設置するために使用される FHDC135 LED ディスプレイ シャーシのネジ穴の詳細図です。



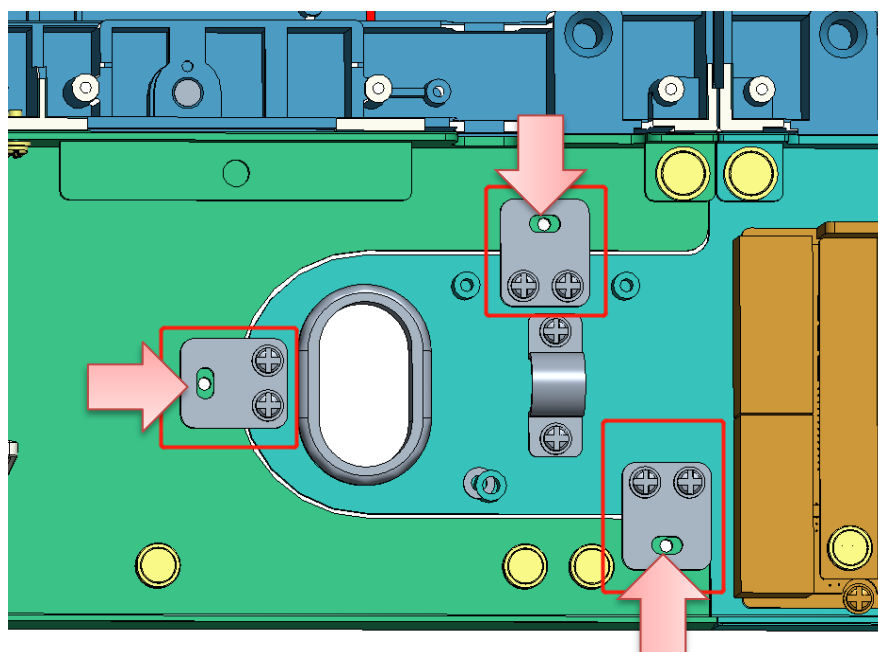
- 図のように、M3x25 mm ネジをネジ穴に挿入し、4kg.cm のトルクで締めます。

ステップ 6: 下部フレームを組み立てる

- 1) 下部フレーム アセンブリは、図に示すように、下部フレーム用の内蔵接続プレートによって接続された下部フレーム 1 と 2 で構成されています。



- 2) 接続プレート 1 枚を使用して、FHDC135 ディスプレイの左下フレームと右下フレームを固定して接合します。M3 ネジ 3 本を使用して、図に示された位置にプレートを固定します。

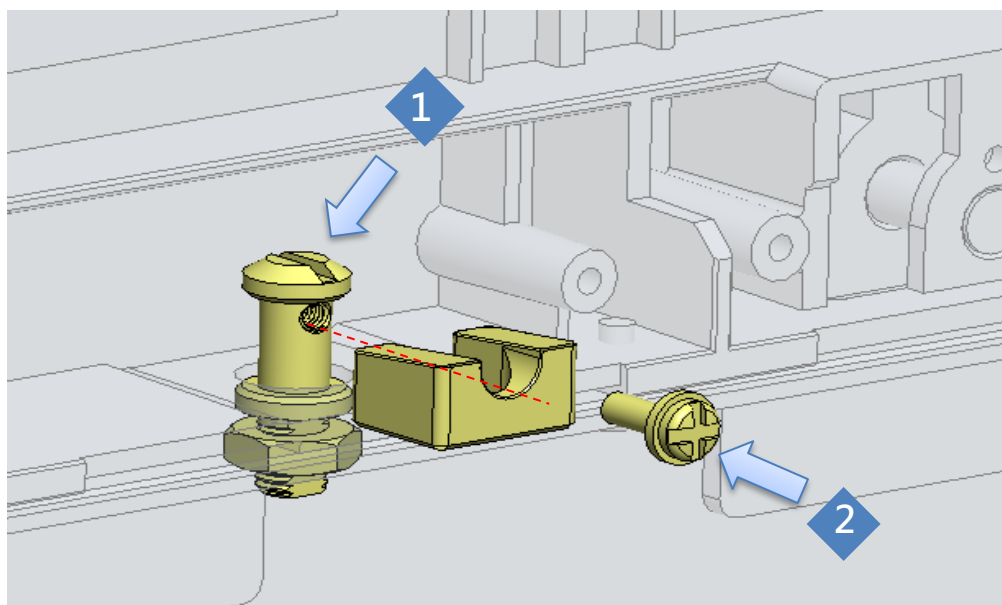


Phillips Screwdriver

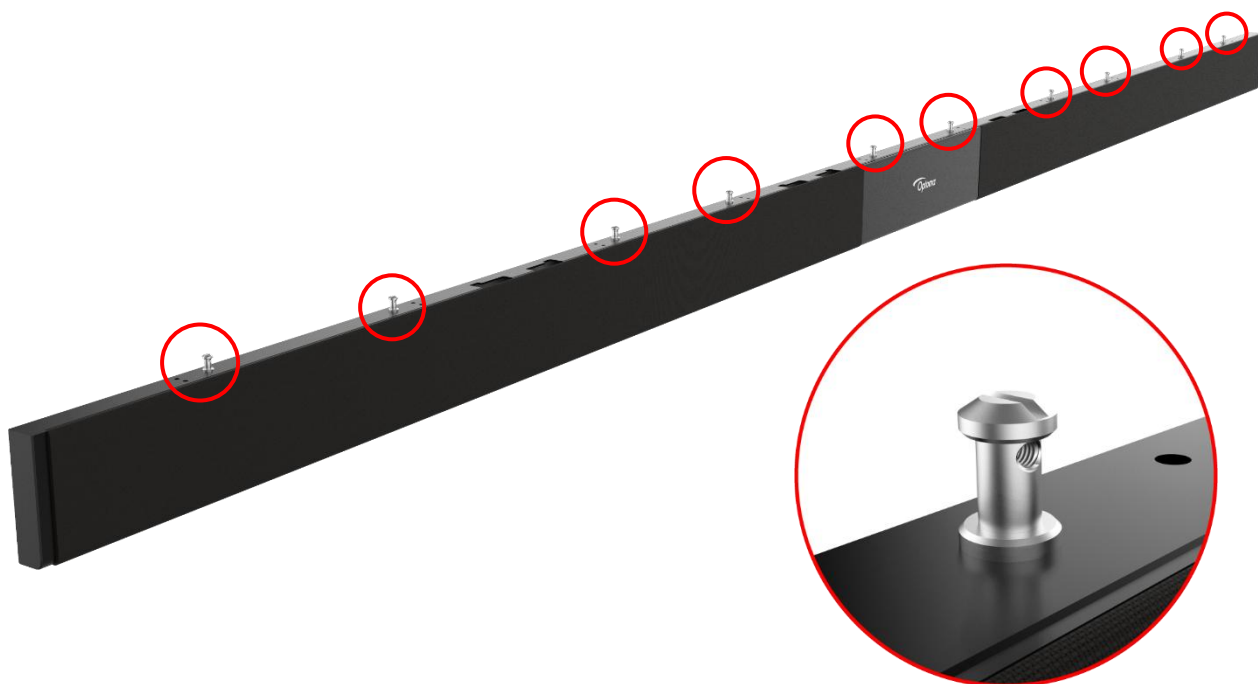


M3x6mm * 3 PCS

- 3) 下図に示すように、下部フレームはロック ブロックと固定ネジを使用してキャビネットアセンブリに固定されます (最初にロック ブロックを挿入し、次にネジを締めて固定します):

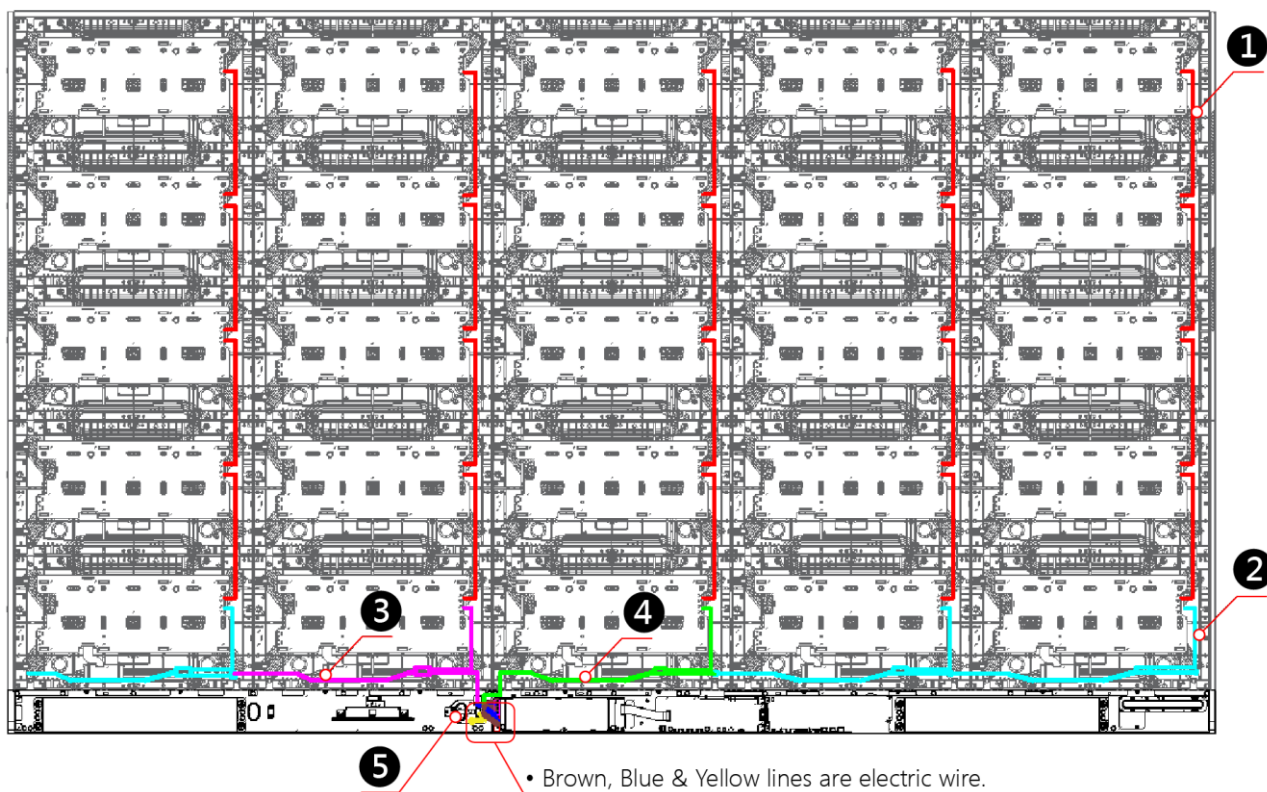


- 4) FHDC135 LED ディスプレイの下部フレームには、キャビネットに接続する固定ピンが 10 個あります。組み立てと固定方法は上記の通りです。

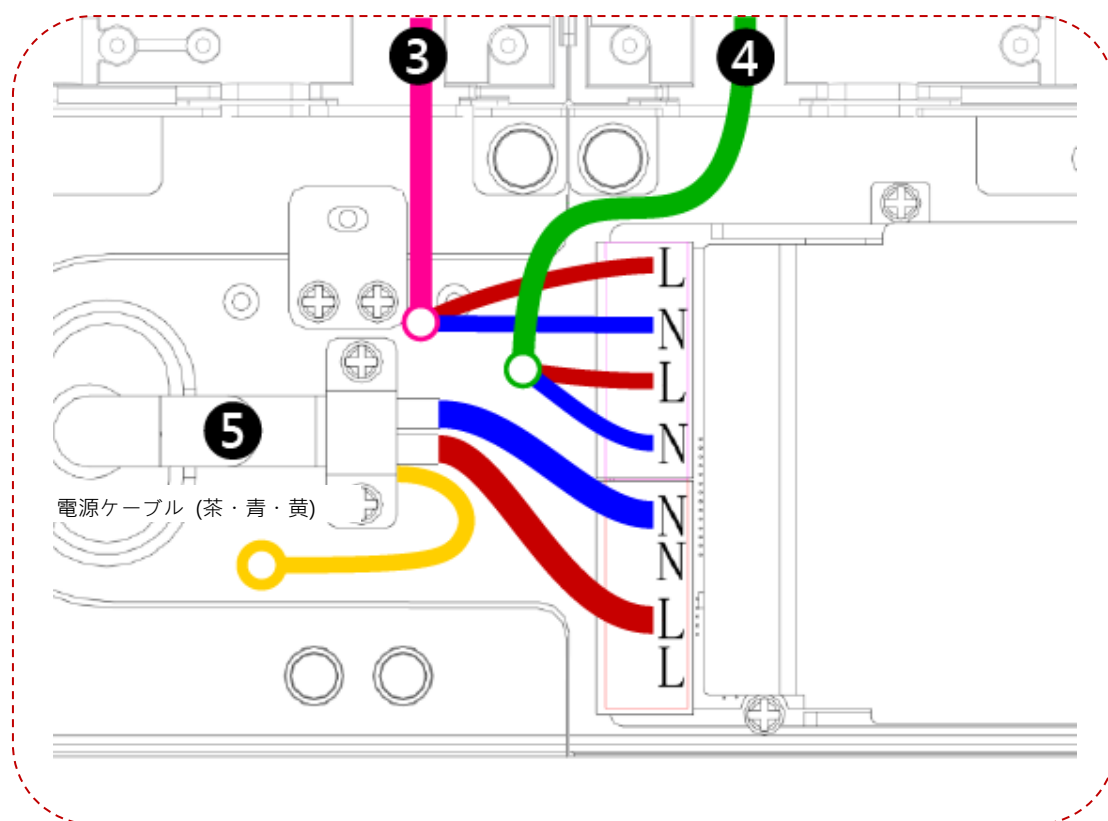


ステップ 7: ケーブル配線

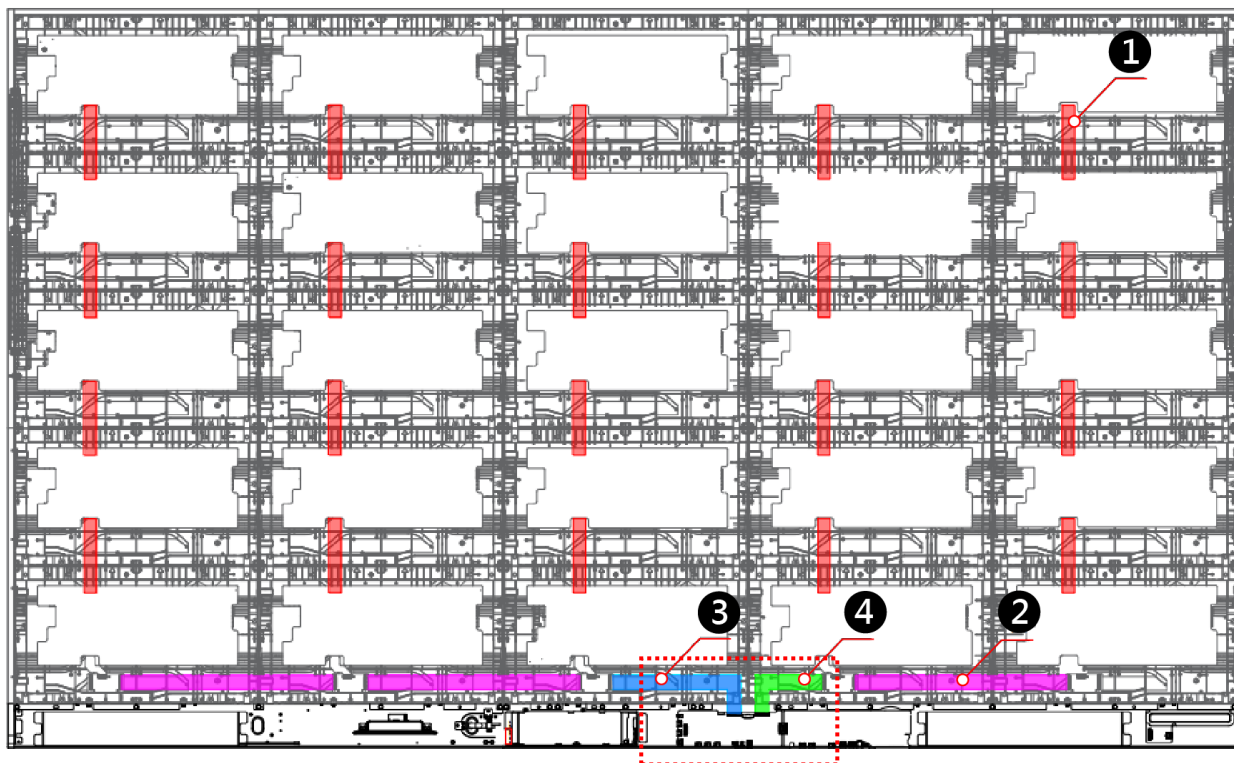
☞ ① まず、図に従ってユニット シャーシ間の電源ケーブルと信号ケーブルを接続します。次に、信号ケーブルと電源ケーブルを下部フレーム アセンブリ (例: FHDC135) に接続します。下図の通り:



番号	部品名	数量	備考
1	キャビネット 20 間の垂直カスケード電源ケーブル。	20	
2	キャビネット間の水平カスケード ケーブル。	3	
3	キャビネット間の水平カスケード ケーブル - 左カスケード。	1	
4	キャビネット間の水平カスケード ケーブル - 右カスケード。	1	
5	入力電源ケーブル。	1	

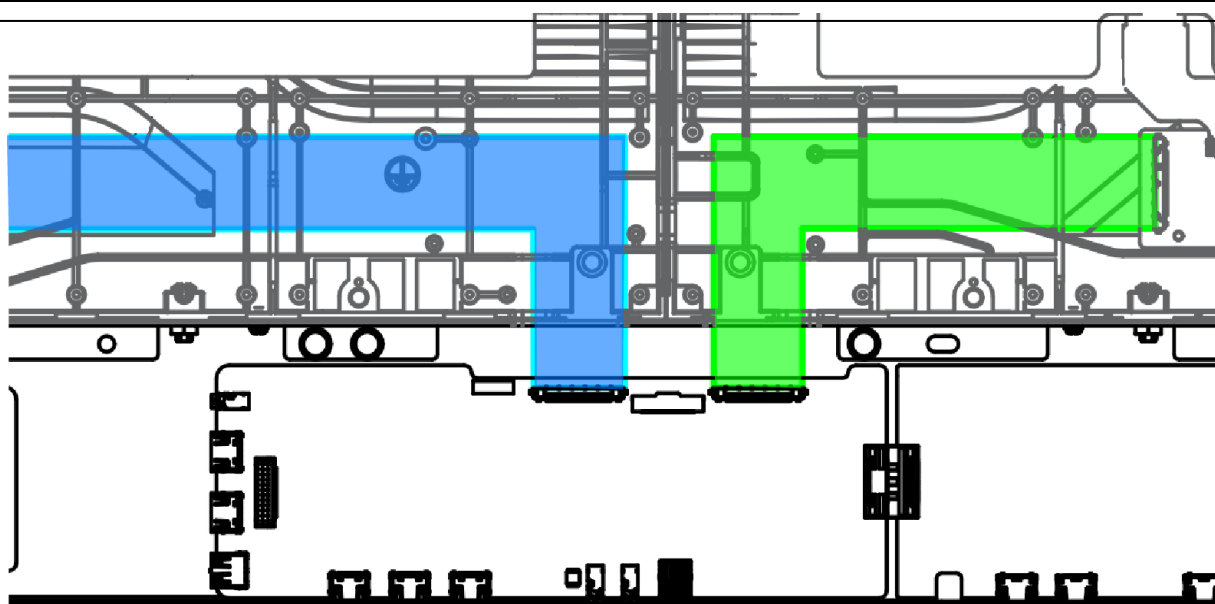


- PSU ケーブル配線 (詳細図)



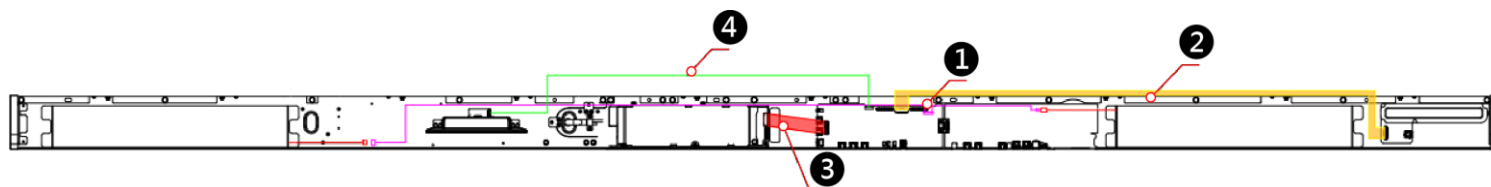
- 信号ケーブル配線

番号	部品名	数量	備考
1	キャビネット間の垂直信号 FFC。	20	
2	キャビネット間の水平信号 FFC	3	
3	キャビネット間の水平信号 FFC - 左カスケード。	1	
4	キャビネット間の水平信号 FFC - 右カスケード。	1	



- 信号ケーブル配線の詳細図

4) 下図に示すように、下部フレーム内のケーブルを接続します:

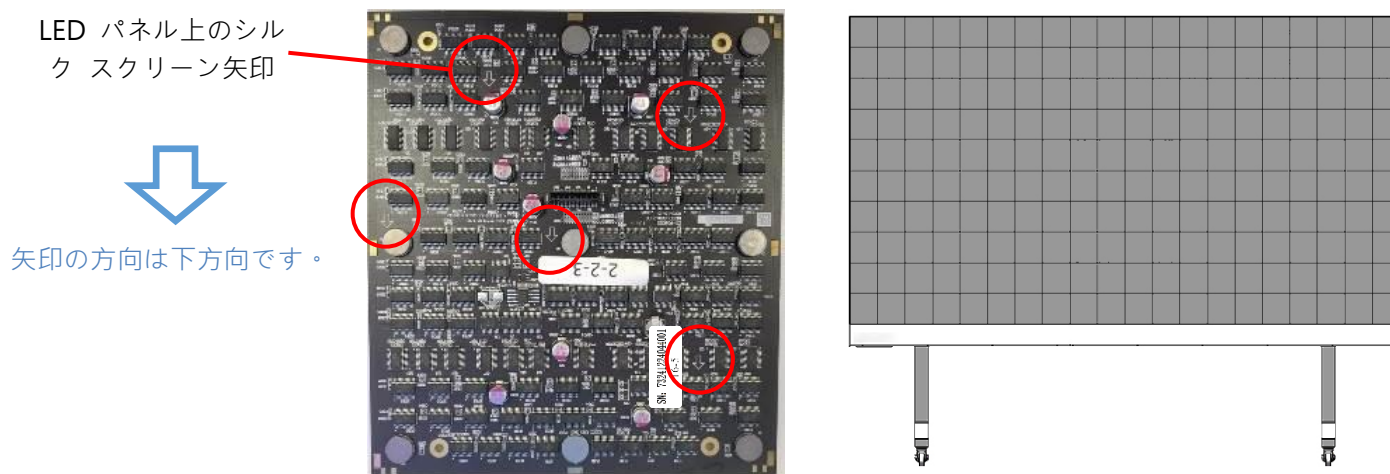


番号	部品名	数量	備考
1	スピーカー分岐ケーブル。	1	
2	キーボードと送信機カード FPC。	1	
3	送信カードと電源モジュールのワイヤーハーネス。	1	
4	Wi-Fi モジュールと送信機カードのパッチコード。	1	

ステップ 8: LED パネルを設置する

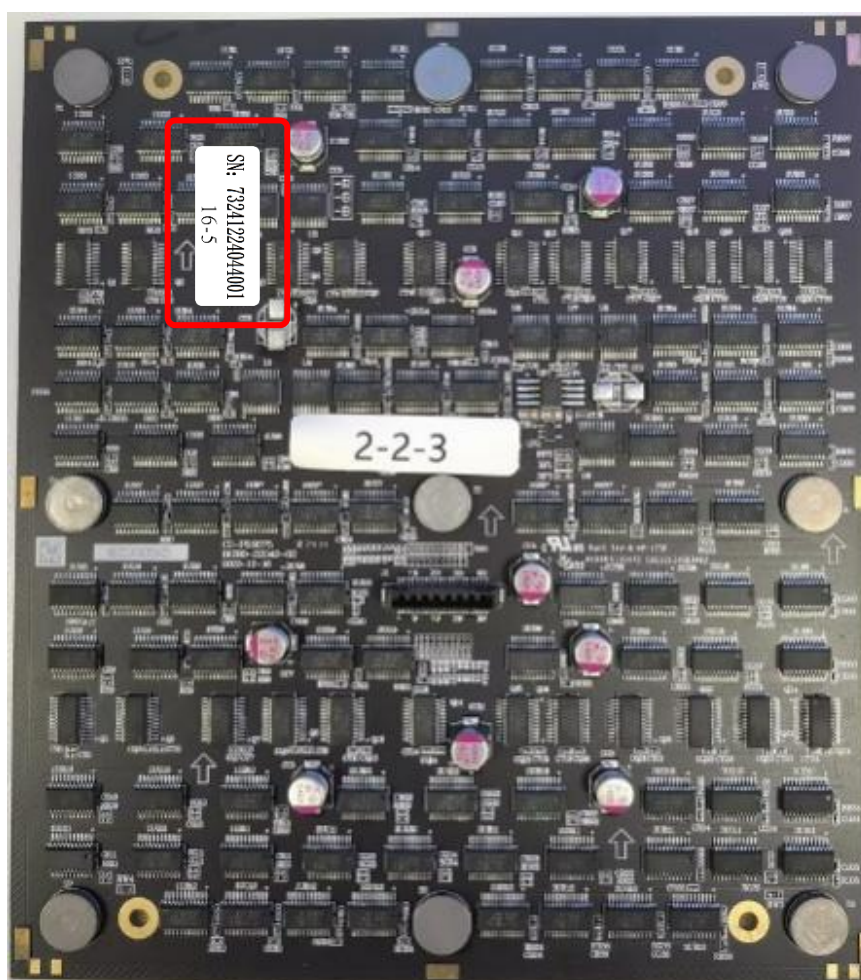
- * 設置順序は、現場の設置環境に応じて、左から右、右から左、下から上、上から下になります。
- * 組み立て時に平面度が悪い場合は速やかに修正してください。

1) LED パネルの接続方法は、ブリッジ ボードとモジュール上のコネクタを介して接続されるハード接続です。設置する際は必ず力をコントロールし、無理に差し込まないようにしてください。設置方向は、LED パネルの矢印で示されている方向と反対です (つまり、組み立てのために LED パネルを 180° 回転させます)。下図を参照してください:



- LED パネルの背面図。

- 5) キャビネットと LED パネルのシリアル番号の説明。出荷された各キャビネットには右上隅 (内側) にマーク番号があり、この番号は工場の調整時に設置されたときのキャビネットの対応する位置を表します。各 LED パネル (背面) にもマーク番号があります。例: 16-5。16 は、工場出荷時の調整時にこの LED パネルがキャビネット 16 に設置されていることを表し、5 はキャビネット 16 内の位置を表します。



- 6) FHDC135 画面の LED パネルには、特定の指定された設置位置があります。施工担当者は、LED パネルの裏面にある番号を確認し、FHDC135 画面の図に示されている組み立て位置に設置する必要があります。

			01#				06#				11#				16#				21#
1-1	1-2	1-3	1-4	6-1	6-2	6-3	6-4	11-1	11-2	11-3	11-4	16-1	16-2	16-3	16-4	21-1	21-2	21-3	21-4
1-5	1-6	1-7	1-8	6-5	6-6	6-7	6-8	11-5	11-6	11-7	11-8	16-5	16-6	16-7	16-8	21-5	21-6	21-7	21-8
			02#				07#				12#				17#				22#
2-1	2-2	2-3	2-4	7-1	7-2	7-3	7-4	12-1	12-2	12-3	12-4	17-1	17-2	17-3	17-4	22-1	22-2	22-3	22-4
2-5	2-6	2-7	2-8	7-5	7-6	7-7	7-8	12-5	12-6	12-7	12-8	17-5	17-6	17-7	17-8	22-5	22-6	22-7	22-8
			03#				08#				13#				18#				23#
3-1	3-2	3-3	3-4	8-1	8-2	8-3	8-4	13-1	13-2	13-3	13-4	18-1	18-2	18-3	18-4	23-1	23-2	23-3	23-4
3-5	3-6	3-7	3-8	8-5	8-6	8-7	8-8	13-5	13-6	13-7	13-8	18-5	18-6	18-7	18-8	23-5	23-6	23-7	23-8
			04#				09#				14#				19#				24#
4-1	4-2	4-3	4-4	9-1	9-2	9-3	9-4	14-1	14-2	14-3	14-4	19-1	19-2	19-3	19-4	24-1	24-2	24-3	24-4
4-5	4-6	4-7	4-8	9-5	9-6	9-7	9-8	14-5	14-6	14-7	14-8	19-5	19-6	19-7	19-8	24-5	24-6	24-7	24-8
			05#				10#				15#				20#				25#
5-1	5-2	5-3	5-4	10-1	10-2	10-3	10-4	15-1	15-2	15-3	15-4	20-1	20-2	20-3	20-4	25-1	25-2	25-3	25-4
5-5	5-6	5-7	5-8	10-5	10-6	10-7	10-8	15-5	15-6	15-7	15-8	20-5	20-6	20-7	20-8	25-5	25-6	25-7	25-8

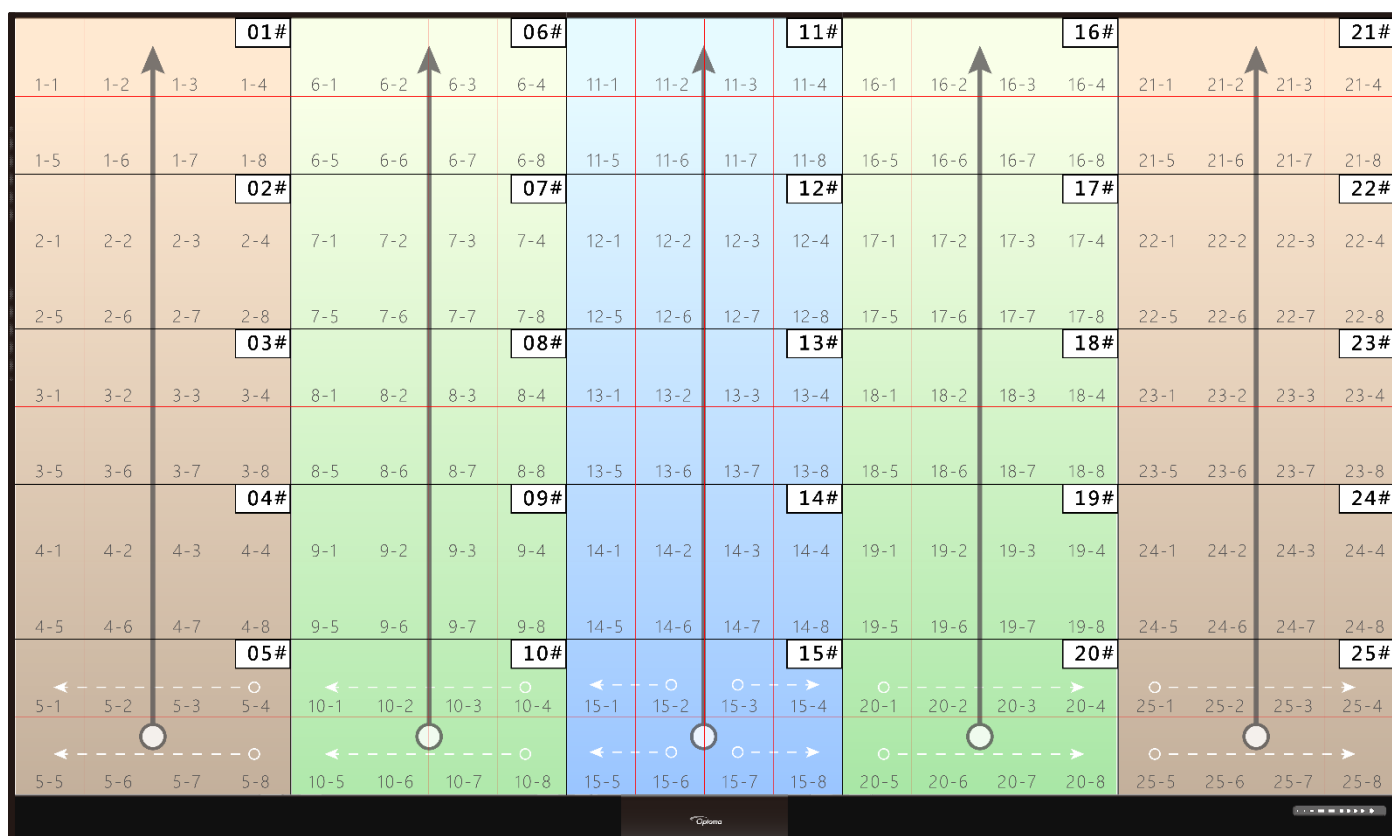
- FHDC135 LED パネルの設置場所マップ。

- I. LED パネルの設置順序は、FHDC135 LED パネルの設置の容易さと組み立てられた画面の平坦性の両方に影響します。OPTOMA では、施工担当者が以下に概説する LED パネルの設置手順に従い、それによって各キャビネット領域に LED パネルの設置を完了することを推奨しています。

図中のカラー ブロックの番号を参照してください。1 ~ 5 の手順に従って、FHDC135

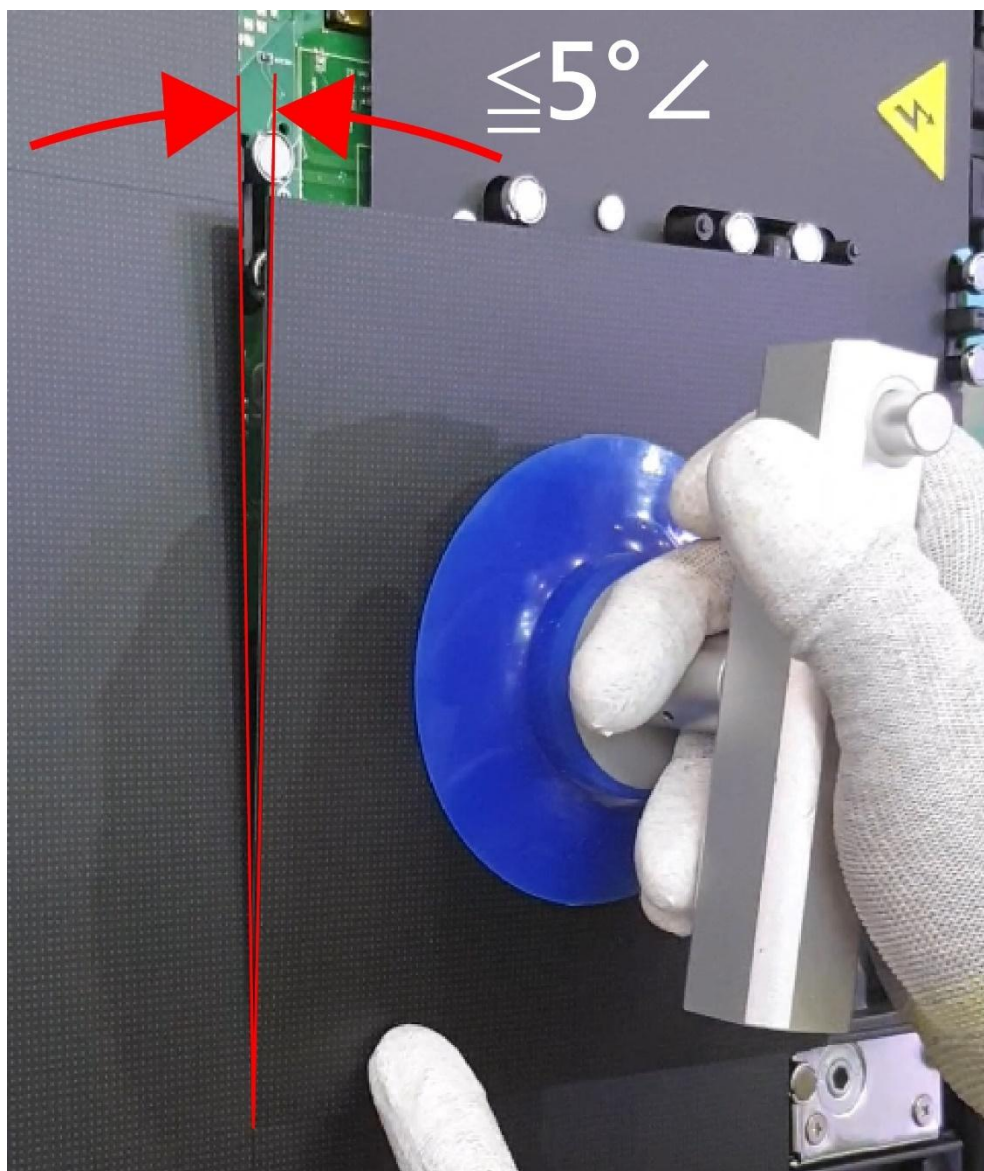
画面の各指定領域に LED パネルを順番に設置します。各カラー ブロック エリアへの LED パネルの設置も特定の順序に従う必要があります。図の矢印で示す鉛直線に沿って下から上へ連続して設置してください。また、破線の白い矢印で示された方向に従って、パネルを連続して設置します。

3 2 1 2 3



- FHDC135 LED パネルの設置手順と順序

- II. FHDC135 シャーシに LED パネルを連続して隣接して設置する場合は、設置する LED パネルの端が、既に設置されている隣接するパネルの端に軽く触れていることを確認してください。この接触点をピボットとして使用し、LED パネルを FHDC135 シャーシに対して磁気的に固定して平らに配置し、設置を完了します。設置プロセス中は、LED 表面同士の衝突による損傷を防ぐため、パネルとスクリーンの間に 5 度を超える角度が生じないようにしてください。



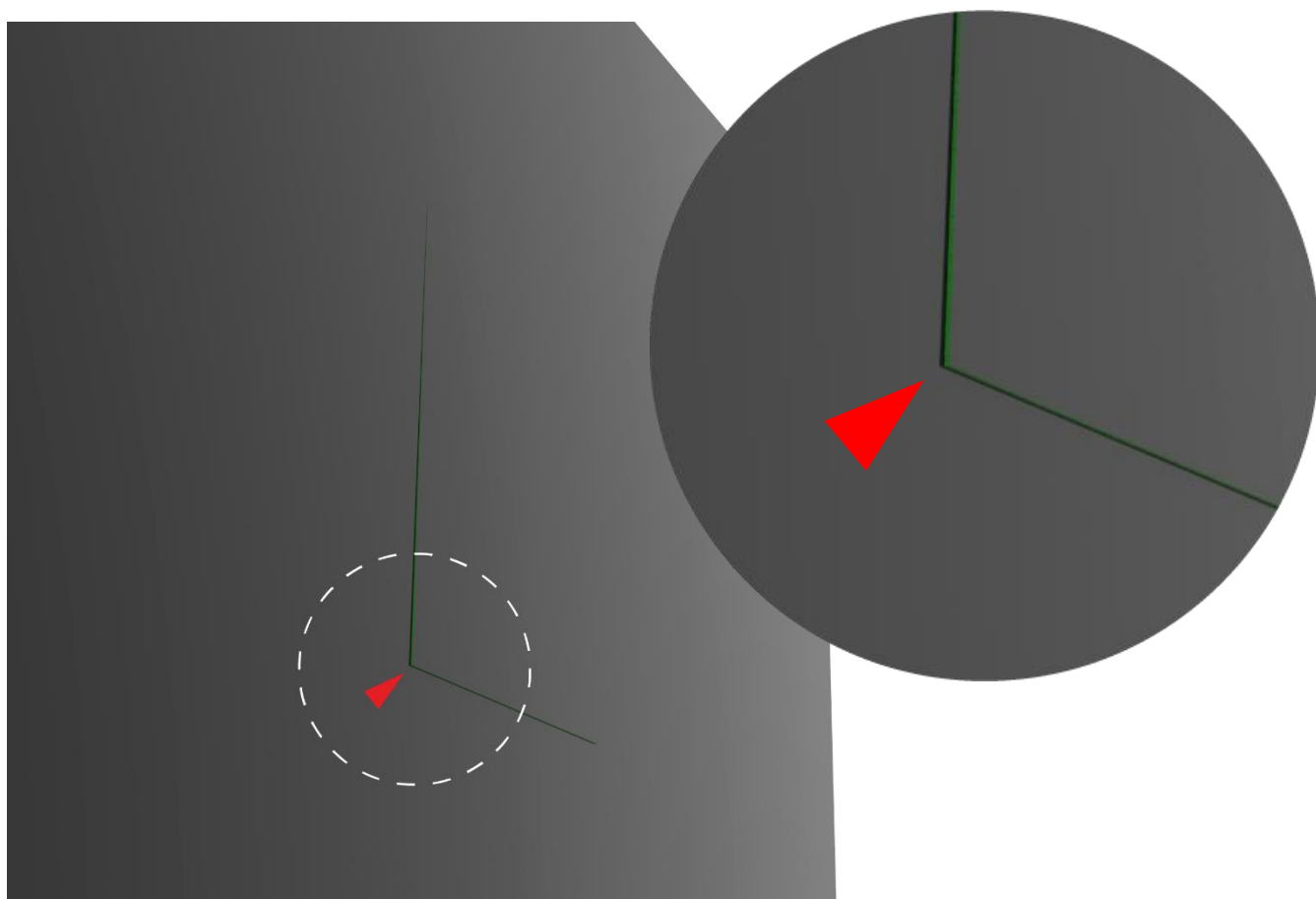
- LED パネルの正しい設置手順を図解で説明します。

III. 接合された LED パネル設置の平坦性を調整する方法。

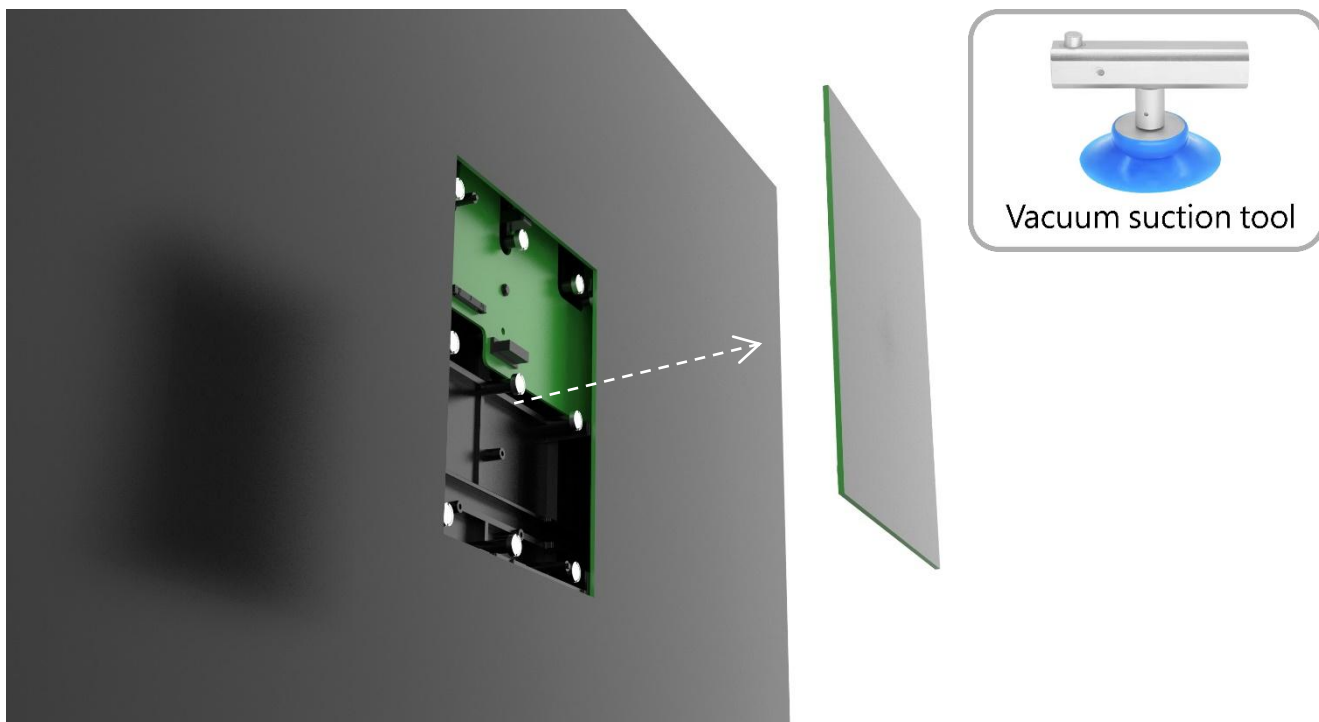
FHDC135 LED ディスプレイ画面は、高さを回転できる 1,800 個の調整可能な磁気ボルトによって支えられた、平面を形成する磁氣的に設置された 200 個の LED パネルで構成されています。

接合された LED パネルの支持面に高さの偏差が見られる場合、ユーザーはマグネットカップ ボルト高さ調整工具を操作してマグネット ボルトを調整できます。ボルトを時計回りに回すと高さが低くなり、反時計回りに回すと高さが高くなります。

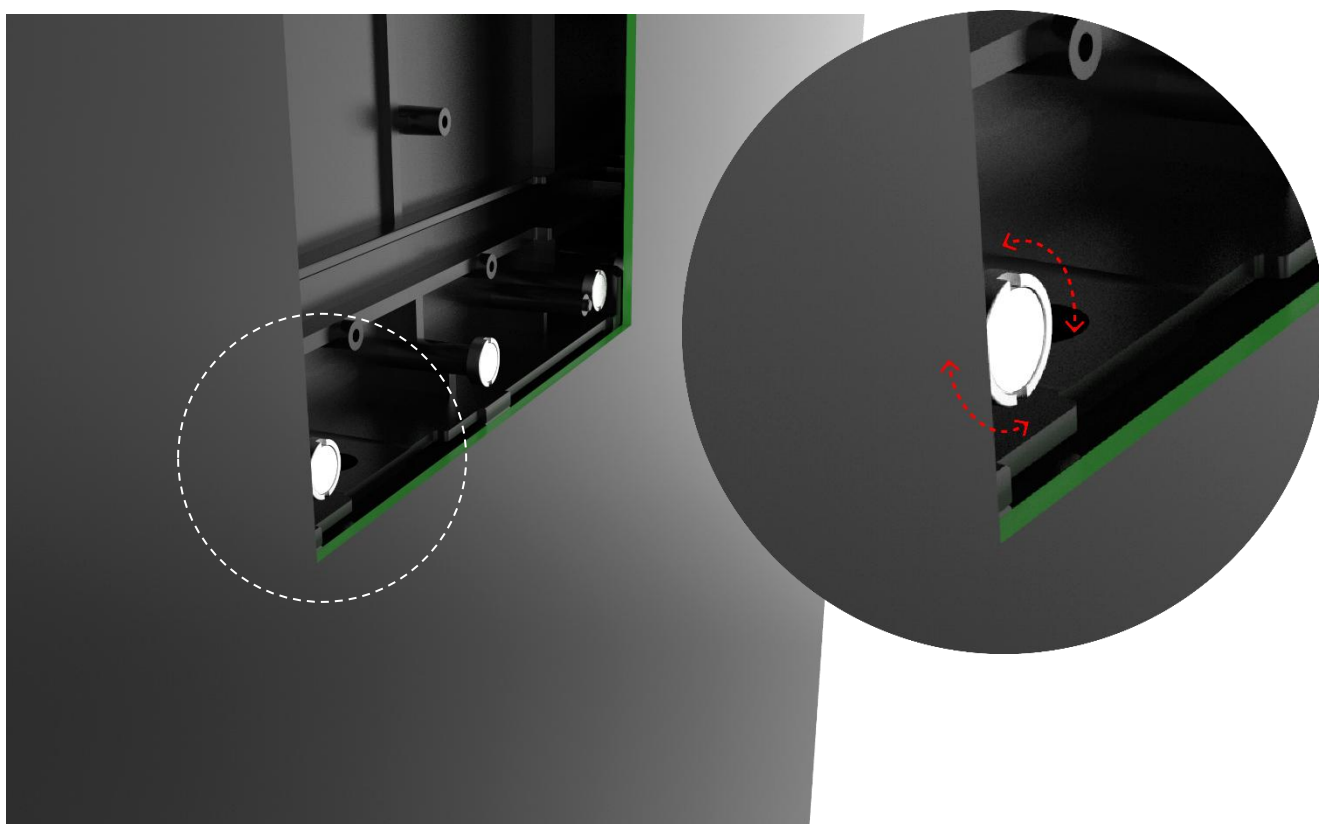
ここでは、マグネット カップ高さ調整工具を使用して、接合された LED パネルの角の高さの不均一性を修正する手順のデモンストレーションを示します。



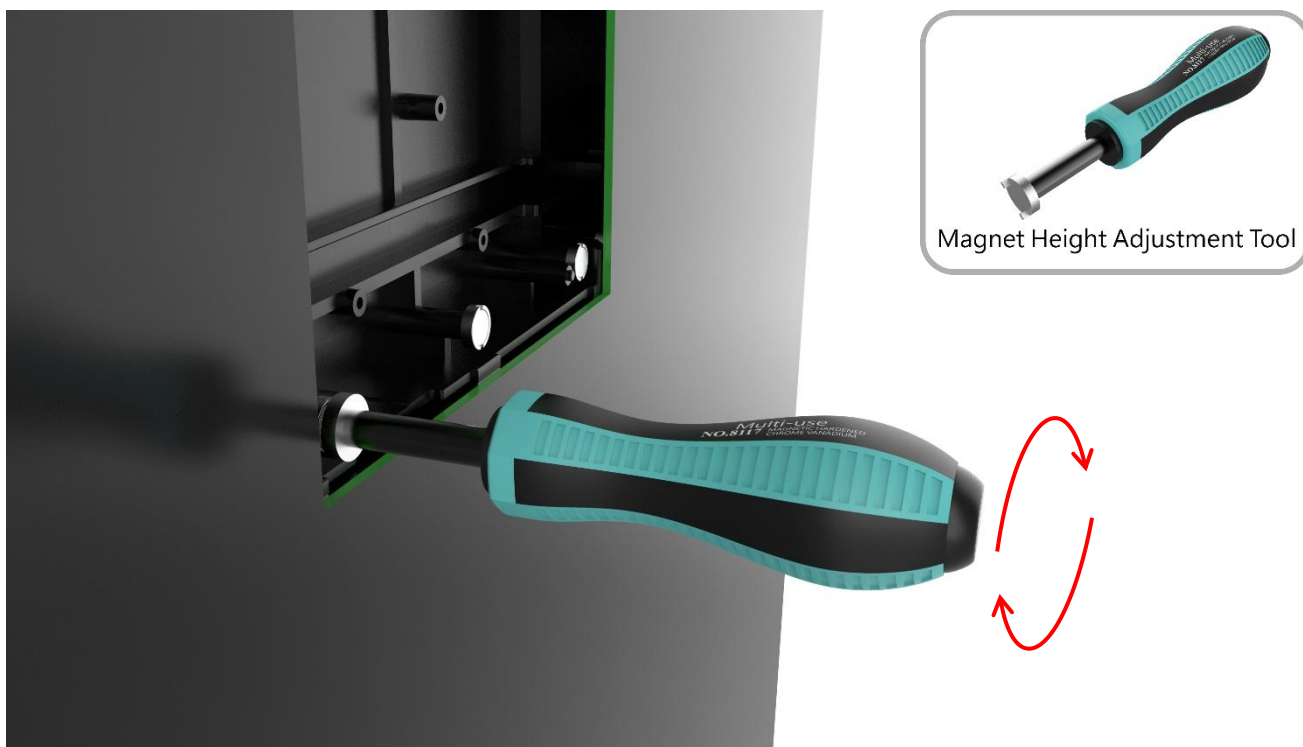
- 図の矢印は LED パネルの左下隅を指しており、この部分ではパネルが画面から突き出ているため、パネルの表面が凹凸に見えます。



- まず、**真空吸引工具**を使用して、凹凸のある LED パネルを取り除き、適切に配置します。



- LED パネルを取り外した後、凹凸の下にあるマグネット カップ ネジを親指と人差し指でつまみ、左右に軽く回して、緩んでいたたり浮き上がっていたりするかを確認します。



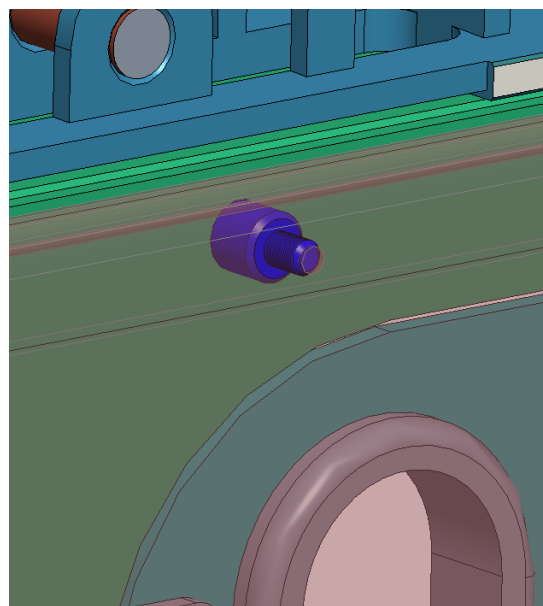
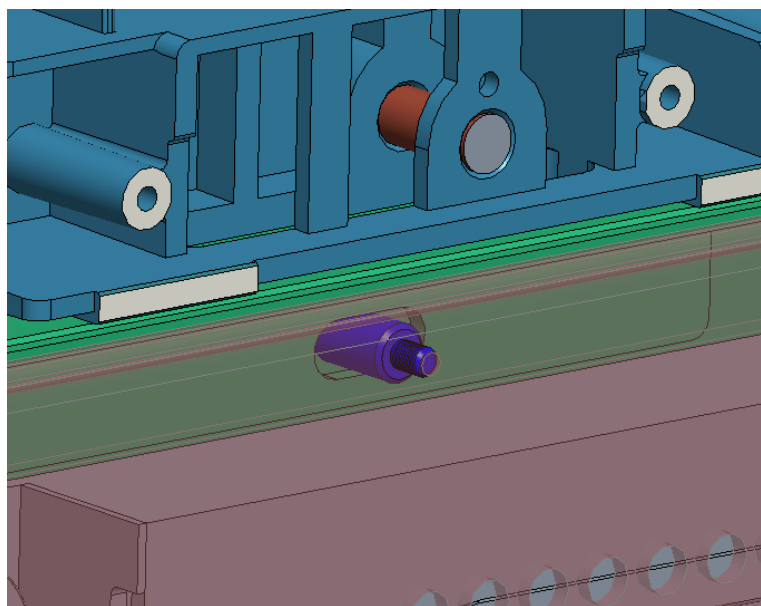
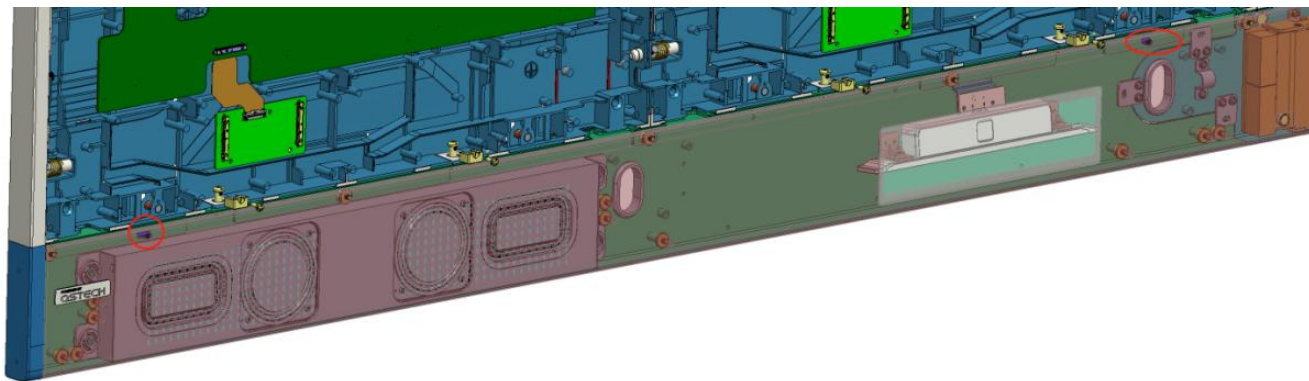
- その位置のマグネット カップ ネジが緩んでいて回転できる場合は、マグネット高さ調整工具を使用してネジを固定し、3 Kg.cm のトルクで時計回りに締めます。



- すべてのマグネット カップ ネジが締められていることを確認した後、取り外した LED パネルを慎重に元の位置に設置し、パネルが平らな面に揃っていることを再度確認します。

ステップ 8: 下部フレーム カバー プレートを設置する

1) 下部フレーム カバー プレートを設置します。設置図に従って、カバー プレートは右から左の順に設置します。カバー プレートには元の色の位置決めピンが付いています。ピンを合わせた後、カバー プレートは磁気吸引によって下部フレームに固定されます (下図参照)。



付録 1

Wi-Fi アンテナ モジュールの設置方法

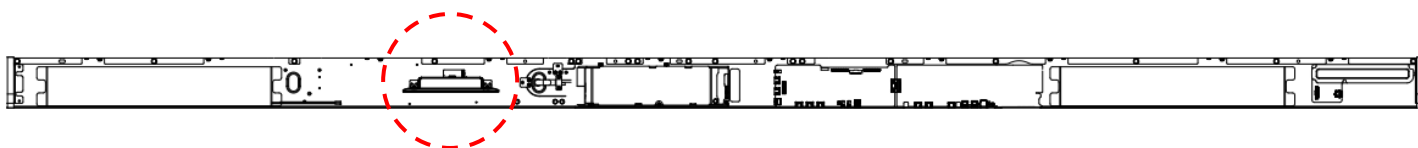
Wi-Fi アンテナ モジュールは、FHDC135 のオプション キットです。以下はこのコンポーネントの設置手順です。



- FHDC135 用 Wi-Fi アンテナの外観

設置場所

Wi-Fi アンテナの設置場所は、下図の破線で囲まれた赤い円で示されているように、FHDC135 システム コントロール ボックス内の PSU の左側にあります。

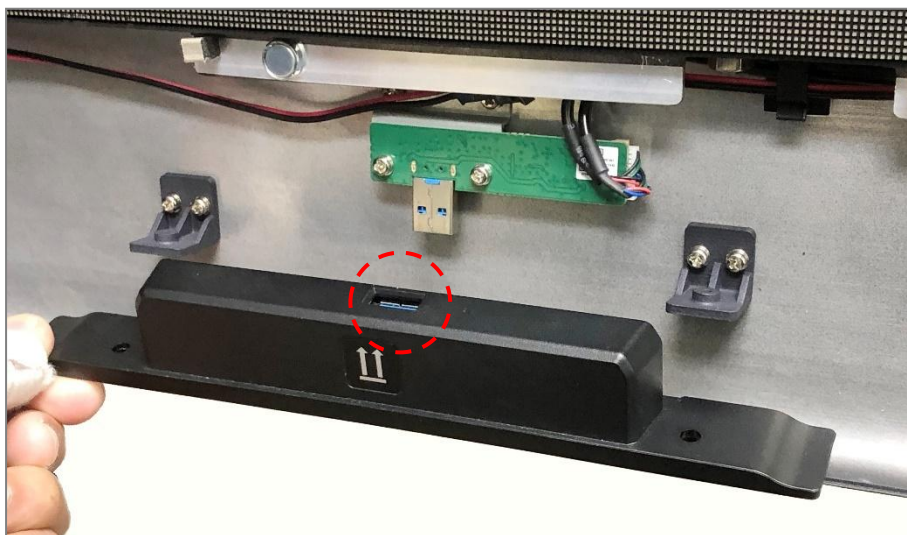


- FHDC135 システム コントロール ボックス。

組み立て手順

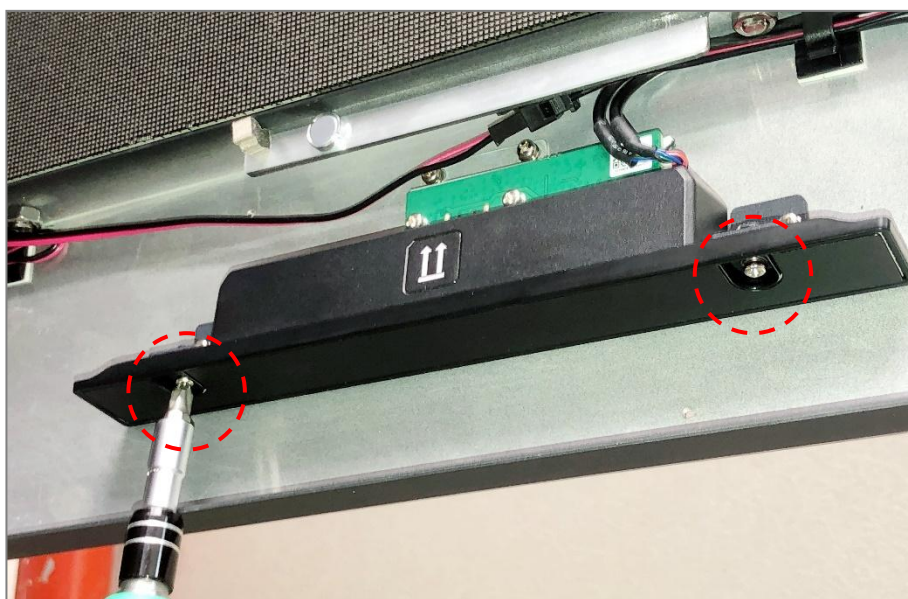
ステップ 1:

下図を参照してください。Wi-Fi アンテナの USB ポートをシステム コントロール ボックス内の対応する USB プラグに接続し、完全に差し込まれていることを確認します。



ステップ 2:

下図の赤い円で示されたネジ穴に 2 本の M3*8 mm ネジを使用して、Wi-Fi アンテナをシステム コントロール ボックスに固定します。



Phillips Screwdriver



M3x8mm * 2 PCS

VAC 入力電気特性

FHDC135 の電気特性							
100 V AC 入力時				220 V AC 入力時			
パラメーター	単位	定格	最大	パラメーター	単位	定格	最大
入力電流	A	6.00	15.00	入力電流	A	2.73	6.82
入力周波数	Hz	50 ~ 60	65	入力周波数	Hz	50 ~ 60	65
電源	W	600	1500	電源	W	600	1500

回路保護

画面の各セクションは、高い故障電流から保護するための回路ブレーカーと、漏電電流を検出するための残留電流デバイス (RCD) によって保護される必要があります

